

SCOUTING

2020
No.735
1



新春メッセージ

スカウティングで世界とつながる
新春名刺交換



CONTENTS

03 天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典
祝賀御列の儀

04 年頭所感 奥島孝康理事長
星に恋した青年の話(ヤーン)

06 年頭所感 福岡正己日本連盟コミッショナー
「ちかい」と「おきて」の実践

08 3度目の宇宙飛行へ
野口宇宙飛行士からスカウトへのメッセージ

09 2020年の主な行事

10 4,000万人の仲間とともに
スカウティングで世界とつながる

14 2020年度 国際交流事業計画

15 世界のスカウト人口

16 世界とつながるプログラム
JOTA-JOTI 2019

17 ニッポン全国元気団紹介
新潟県連盟 新潟第19団

18 スカウティングとSDGs
—一緒に考えよう! 持続可能な社会のために—

20 第13回日本アグーナリー

21 企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ
カブスカウト対象 “新チャレンジ章”

22 さまざまな年代の自然体験活動を実施
大和の森 高萩スカウトフィールド

23 野外活動のための安心・安全講座
多様なアイデンティティ

24 ローカルホットライン

25 エッセイ

25 信仰奨励

26 スカウティングと観察・推理 ④
森から街へ……
村、町、都会の姿を観察しよう。

28 日本連盟情報

28 第47回
全国ボーイスカウト写真コンテスト作品募集

29 セーフ・フロム・ハームの取り組み

29 維持会員

30 新春名刺交換

38 令和元年台風第19号への支援状況報告

39 スカウトショップ

謹賀新年

令和二年



天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典 祝賀御列の儀



写真：読売新聞／アフロ



2019年5月1日(水)、天皇陛下が即位され、新たな時代「令和」が始まりました。

昨秋、11月9日(土)に皇居前広場で行われた「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」と、翌10日(日)に皇居から赤坂御所にかけて行われた「祝賀御列の儀(パレード)」において、スカウトと指導者総勢約500人が奉仕しました。

国民祭典ではローバースカウトと指導者約100人が東京駅などから訪れた観客を会場へ誘導し、翌日のパレードでは約350人のカブスカウトと指導者が、赤坂御所に入る間際の沿道で国旗を振って両陛下の御車をお迎えしました。



Ⅰ 「富士特別野営2019」から

昨年8月に実施された「富士特別野営2019」は、例年実施されている富士スカウトを中心とする特別訓練においては、初めて内容のある訓練らしい訓練となった。これまでの特別訓練では、そこで初めてキャンプを経験した者がいたくらいであるから、どうしてこ

のような者が富士スカウトとなったのか不思議であると思えるが、その者が特別訓練は実に楽しかったが、初めてキャンプを経験してキャンプがこんなに楽しいものだとは思わなかった、と告白したのには開いた口が塞がらなかった。

キャンプを経験しないスカウトを富士スカ

年頭所感

星に恋した 青年の話(ヤーン)

日本連盟理事長

奥島孝康



ウトに推薦する指導者は何を考えていたのか。ただただ驚くばかりではない。スカウトの学習とは《learning by doing》である以上、キャンプでの経験こそが、スカウトの訓練であり、スカウトの技術も魂もキャンプで養われることは自明の理であるといっても過言ではない。だからこそ、ぼくはあらゆる機会をとらえて、ウッドクラフトとパトローリングの必要性和重要性を説いているのだ。

その意味で、極論すれば、座学などまったく必要ないといってもよい。一つのテントの中で一週間も食事とゲームを共にして暮らせば、スカウトとして必要な技術はもとより、スカウトとして重要な教養(?)もすべて身につくと思われる。《one for all, all for one》の精神は、ラグビーの試合を見ればよくわかる。そうしなければ戦うことができないからだ。スカウトの精神はまさしくこのチームプレーの精神と同質のものといつてよい。

今回は初めての6泊7日間の移動キャンプであり、さらに那須野営場から高萩スカウトフィールドへ、ハイキングを加え、ラフティングによる川下りなど、全長100km以上の道のりに、6泊7日の全装備を背負い、リンツーによる宿泊を含む24時間を超える過酷なプログラムであった。『スカウティング』2019年9月号(733号)の16ページ以下にその詳細が紹介されている。ぜひ、全スカウトが熟読してほしい。

なぜ、そのようなことをいうのかといえば、ぜひともこの富士特別野営に参加して、スカ

ウトとしての青春を謳歌してほしいからである。もう一步踏みこむと、練度の高い精強なスカウトが増えると、スカウト運動の未来に希望が見えてくるからである。

II 星に恋した青年の話

ぼくがこの「富士特別野営2019」の最終日の大営火で試みたヤーン(夜話)は、『星に恋した青年の話』であった。それをここで簡潔に再現しておこう。息子(デミアン)の友人ジングレエルが恋こがれているエヴァ夫人(デミアンの母)が、ジングレエルにした話である。

「彼は海辺に立って、両手をさしのべながら、その崖の上に立っていた。そして星を見つめながら、その星への愛慕にもえていた。そして、この上なく激しい慕情の一瞬に、彼は跳ね上がると、虚空の中へおどりこんだ。——星をめぐらして。しかし、とびあがったせつなになお、彼は電光のすばやさで、やっぱりだめにきまっていると思った。その結果、下のほうの渚に横たわったまま、彼は五体みじんにくだけていた。

彼は愛することをわきまえていなかったのだ。もしも、跳ね上がった瞬間に、堅く確実に実現を信じるだけの精神力があったとしたら、彼はおそらく高く舞い上がって、星とひとつになったことであろうものを(ヘルマン・ヘッセ『デミアン』(岩波文庫)より)」と。

この話を若きスカウトたちは、どう受けとるであろうか。ぼくは、ただただこの話を考えてもらいたかった。いまのスカウト運動の実態を

みて、ぼくたちはどう考えるべきかを。スカウトの誓いを立てたということは、「死して後もスカウトだ」という信念に生きるということではないのか。

III 「道心堅固」へ

ヘッセの『デミアン』という作品は、第一次世界大戦後の深い昏迷におちいったドイツの青年層から、空前の感激をもって迎えられたという。しかし、そのことはここではどうでもよい。問題は、この小説中で語られた「星に恋した青年の話」である。「もしも跳ね上がった瞬間に、堅く確実に実現を信じるだけの精神力があったとしたら、彼はおそらく高く舞い上がって、星とひとつになったことであろうものを」という一節である。

ぼくたちは、そこまで深くスカウティングを信じているであろうか。エヴァ夫人は、「私の愛情は願ってはいけません。要求してもいけないのですよ。愛情はそれみずから確実なものになるだけの力をもたなければだめですわ。そうならば、もうひきつけられるのではなく、私のほうがひきつけるようになりますよ」といっている。ぼくたちのスカウティングに対する愛が深く大きいものであれば、スカウト運動はまるで違った様相を呈しているに違いない、とはいえないであろうか。

そうだとすれば、佐野常羽先生のいわれる「道心堅固」という生き方こそがスカウティングのこの苦境を救う唯一の方法なのかもしれない、と思われてならない。

年頭所感

「ちかい」と 「おきて」の実践

日本連盟コミッショナー

福 嶋 正 己

現在の「おきて」は、検討期間4年を経て1987（昭和62）年度年度次全国会議および理事会での承認をもって、従来の12項から8項へと改正されました。すでに30年以上も前のことではありますが、現在も私の心の中で忘れられない記憶の一つをお話したいと思えます。

永遠のスカウト

1990（平成2）年ごろ、まだIT関連会社の営業職社員であった私は、アメリカ合衆国アトランタのソフトウェア会社が販売しているCMS（キャッシュ・マネージメント・システム）を日本の銀行市場に展開しようと、その会社と販売提携を結びました。その後、日本のあるメガバンクにCMSの導入が決まり、提携先企業の副社長とシステムエンジニアの2人が納入作業のために1週間ほど来日してハードウェアにソフトウェアをインストールする最終作業を行い、無事にすべての作業を終了して検収を終えた最終日の夜、打ち上げの会を行いました。

その中で、私が日本のボーイスカウトの指導者であること、そして、ソフトウェア会社の副社長がボーイスカウトアメリカ連盟のスカウト経験者でイーグルスカウトであることを、互いに知りました。アメリカでは、イーグルスカウトを紹介するとき、「He was an Eagle scout.（過去形）」ではなく「He is an Eagle scout.（現在形）」というそうです。そして、アメリカ連盟がよく使う言葉に、「Once an Eagle, Always an Eagle.（一度イーグルスカウトに進級したら、常にイーグルスカウトである）」という言葉があります。過去のスカウト時代だけではなく、現在も、いつでもイーグルスカウトであるということを表しています。

驚いたのは、彼がスカウト活動から20年以上も離れていたにもかかわらず、3つの「ちかい」と12の「おきて」をスラスラと暗唱したことでした。日本で富士スカウトに進級して20年ほどスカウト運動から離れていた人が、果たして同じように「ちかい」と「おきて」をスラスラと暗唱することができるのでしょうか。アメリカ市民として、そして社会においても「ちかい」と「おきて」が日常生活の中に生きていることの証なのだ、その時ハッと考えさせられました。

また、そのこと以上に私が考えさせられたことがありました。それが「おきて」についてです。当時、日本では「おきて」が12項から8項に改正されたのでした。その副社長に「日本のボーイスカウトも以前はアメリカ連盟と同様に12の『おきて』であったが、数年前に12項から8項に改正をした」ことを伝えました。すると副社長は、どの項目がなくなったのかと聞いてきました。

「LOYAL・忠節を尽くす」「HELPFUL・人の力になる」「OBEDIENT・従順である」「CLEAN・純潔である」「REVERENT・つつしみ深い」の5項がなくなり1項が新設されたこと、削除した項目の意味は改正後の8項の中にも含まれていること、また現代（当時）の

子どもたちには理解しにくい難解な言葉である、等々の理由で8項に改正したのだと話しました。すると彼は、「今の日本人そのものようだ」と言い切りました。世界に対して「忠節は尽くさない」「他の人に力を貸さない」「世界のルールには従わない」「政治家はクリーンではない」。このことを聞いて、当時の私は反論ができませんでした。日本人が世界からこのような目で見られているのかと思うと同時に、自分の説明が足りなかったかもしれない、情けなくなりました。

子どもたちには理解しにくい難解な言葉である、等々の理由で8項に改正したのだと話しました。

すると彼は、「今の日本人そのものようだ」と言い切りました。世界に対して「忠節は尽くさない」「他の人に力を貸さない」「世界のルールには従わない」「政治家はクリーンではない」。このことを聞いて、当時の私は反論ができませんでした。日本人が世界からこのような目で見られているのかと思うと同時に、自分の説明が足りなかったかもしれない、情けなくなりました。

「ちかい」と「おきて」

3つの「ちかい」は、スカウト運動の原理であり、世界共通であり、各国の言葉で表されて



日本連盟コミッショナーより

2019年度 冬季の諸活動に 向けて（要約）

冬季諸活動において下記の留意事項等を確認し、より一層、安全への注意喚起を図り、スカウト活動に取り組んでください。

■ 冬季諸活動の留意事項

スキー、スノーボード、スケートなどのウィンタースポーツ、雪中キャンプや雪中ハイキング等、冬の自然を感じられる活動が展開されることと思います。気象条件や環境の変化が厳しいことから、通常時の安全対策に加え、冬季に応じた対策を念入りに行き、計画の段階から事前準備を十分に行い、活動中は具体的な指示・指導を徹底して安全確保に努めましょう。

また、安全対策、ノロウイルス等の食中毒の予防、天候チェック、公共マナーの遵守等にも留意してください（過去の通達も日本連盟ホームページに掲載しているので参照のこと）。

■ セーフ・フロム・ハームについて

スカウト活動において、危険や危害になるものからの保護、抑止あるいは防止、安心安全な環境の中で充実した活動を実践するために、「セーフ・フロム・ハーム」の趣旨を十分に理解し、取り組んでください。

なお、2020年度登録前研修は、ローバースカウトおよび指導者の必須研修です。

※詳細は本誌29頁をご確認ください。

■ 各種書類の提出

活動場所や内容に応じて、必要書類を県連盟や行政管轄部署等に提出することが求められています。

登山計画書（登山届）や県外旅行申請書、実施計画書と安全計画書など、必要に応じて作成し提出を徹底してください。



います。また、「おきて」は3つの「ちかい」を実現するための日々の生活における行動の指針を示しています。

ここでは、項目の削除や変更が良いことか悪いことを論じているわけではありません。そのことを考えられるのは、12の「おきて」で過ごしてきた当時のスカウトであり指導者たちです。

ただ、言葉が今風ではないとか、難解で理解できないとか、理屈は何でも考えられますが、ともあれ初級スカウトは、まず『「ちかい」と『おきて』が言える』。要は、丸暗記することができる。その後、2級スカウトを経て1級スカウトに進級するころには「ちかい」と「おきて」の意味が分かり、月日を経るに従い徐々に身につけ、理解することができ、日常生活で

実践して模範を示すことができるようになる。

このようにスカウト時代の進級とともに「ちかい」と「おきて」を実践できるよう段階的に身につけていき、大人になっても知らず知らずのうちに実践できている。そのことが市民として、社会の中で模範を示し、良い社会人として社会に貢献することに繋がっていくものだと思います。

改正が施行された1988（昭和63）年以降のスカウトや指導者たちは、今示されている8項目の「おきて」をいつでも暗唱でき、日々実践することによって、日々の生活の中にスカウトの「ちかい」と「おきて」が生きていることを、社会に示していきましょう。それこそが、スカウト運動に関わっている我々の使命であると思います。

3度目の宇宙飛行へ 野口宇宙飛行士からスカウトへのメッセージ

ボーイスカウト・アンパサダーとしてご活躍いただいている野口宇宙飛行士は、1974年に兵庫・姫路第8団カブ隊に入隊し、現在は神奈川・茅ヶ崎第2団ビーバー隊副長として在籍しているスカウト仲間です。

現在、3度目の宇宙飛行を控え、アメリカで訓練に励まれている野口宇宙飛行士より、新春メッセージをいただきました。皆さんの隊や団のスカウトにも、ぜひご紹介ください。

三指

スカウトの皆さん、こんにちは！ 宇宙飛行士の野口聡一です。

私は小学2年生でカブスカウト隊に入隊して以来、ずっとスカウト活動を楽しんできました。スカウト活動で身につけた「そなえよつねに」の精神は、宇宙飛行士になってからも、とても役に立っています。また、世界中に広がるスカウトの輪のおかげで、いろいろな国の人たちと仲良く一緒に活動できることも、宇宙飛行士として仕事をする上でも重要なことだと感じています。

さて、おかげさまで私の3度目の宇宙飛行の機会もだんだんと近づいてきました。今はアメリカ、NASAでの活動を中心に、仲間の宇宙飛行士たちとともに訓練に励んでいます。アメリカが総力を挙げて開発中の新型有人宇宙船に日本人として初めて搭乗することも決まり、改めてその責任の重さに身が引き締まる思いです。

スカウトの皆さんにも夢を追い続けることの大切さや、宇宙開発の重要性を理解していただけるよう、引き続き頑張りますので応援よろしくお願ひします。



弥栄
2020年新春

ボーイスカウト・アンパサダー
JAXA 宇宙飛行士

野口 聡一

野口宇宙飛行士と ボーイスカウトの関わり

1997年 日本連盟創立75周年記念式典に出席。スペースシャトルに搭乗する若田宇宙飛行士に携行いただく75周年記念旗を受け取る
2005年 ★スペースシャトル搭乗（世界100周年記念旗を携行）

2006年 14NJ（石川）来場
スカウティング褒章受章（日本連盟第1号）
2009年 ★国際宇宙ステーション半年間プロジェクト（15NJ大会ワッペンを携行）
2010年 15NJ（静岡）来場

2013年 16NJ（山口）来場
2014年 ボーイスカウト・アンパサダー就任
2015年 23WSJ（山口）来場
2017年 17NSJ（石川）来場

2020年の 主な行事

2019年12月15日時点

2019年度富士スカウト代表表敬

3月(予定) / 東京

富士スカウトの代表表敬は、ボーイスカウト日本連盟創立60周年記念事業として始まり、継続して実施しています。今回も首相官邸、文部科学省等への表敬を予定しています。



2020年度全国大会

5月23日(土)～24日(日) / 神奈川・神奈川県民ホール、他

社会への本運動の理解を広めるとともに、加盟員の研鑽の場、日本連盟と参加者双方の情報交換の場として開催します。

第13回日本アグーナリー 関連ページ p20

8月12日(水・祝)～16日(日) / 福島・国立磐梯青少年交流の家

4年を周期に、障がいのあるスカウト(特別な配慮を必要とするスカウト)と国内外のスカウトが相集い、キャンプ生活を通じて障がいへの理解を深め、人格や個性を尊重し支え合う社会の実現を目指します。



ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA) / ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)

世界スカウト機構主催事業 関連ページ p16

10月16日(金)～18日(日) / 全世界

世界スカウト機構(WOSM)が主催する公式国際行事です。アマチュア無線やインターネットを活用し、国内外のスカウト仲間と交流することを目的に毎年10月の第3金曜日から日曜日までの3日間(72時間)開催されます。



第23回全国スカウトフォーラム

11月21日(土)～23日(月・祝) / 兵庫・国立淡路青少年交流の家

2020

1月

2019年度日韓スカウト交歓計画 交流プログラム

1月11日(土)～13日(月・祝) / 大阪・羽衣青少年センター

日本と韓国のスカウトが、交流を通じて相互の国の歴史や社会、文化、考え方などを知り、友好関係を築く機会として開催します。



2月

3月

4月

全国防災キャラバン2020

4月～2021年2月 / 全国

「そなえよつねに」の精神で、防災について考える機会を一般の方々に提供することを目的として、



全国のイオンモール等で「全国防災キャラバン」を実施します。

5月

6月

国立公園カーボン・オフセット キャンペーン

世界スカウト環境プログラム (日本連盟認定プロジェクト)

4月～12月 / 全国

全国の国立公園を訪れ貴重な自然の中で環境について学び、学習したことを公園来場者に伝える環境啓発活動を行います。活動時期や場所は、実施希望の隊などの申し出により、各施設と調整します。



7月

8月

9月

スカウトの日

9月21日(月・祝) / 全国



9月の第3月曜日は「スカウトの日」。全国各地域において、地域社会への奉仕活動をはじめとしたさまざまな活動を一齐に展開し、地域社会へ貢献するとともに、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールすることを目的に実施します。

10月

11月

12月

2021
⋮
2022

日本連盟創立100周年

※詳細、名称、ロゴ等は今後変更になる場合があります。

4,000万人の仲間とともに スカウティングで 世界とつながる

昨年の夏、アメリカで開催された「第24回世界スカウトジャンボリー」には、世界各国から4万人を超える仲間が集いました。キャンプ生活を共にし友情を育むのは、ボーイスカウトならではの国際交流です。今号では、スカウティングを通じたさまざまな国際交流について、参加した皆さんの体験談をお届けします。

国際人として世界に仲間入り

日本連盟 国際コミッショナー・副理事長 水野 正人

リーダーシップ、チームワークや思いやり、まわりの人の役に立てるようになるためのさまざまな技能など、スカウティングを通じて得られることは実に多岐にわたりますが、国際交流も非常に大きな魅力のひとつです。



私は16歳のとき、フィリピンで開催された「第10回世界ジャンボリー」で初めての海外経験をしました。連日のスクールによるひどいぬかみの中、片言未達の英語で国際交流を大いに楽しみ、たくさんの友達を作りましたが、キャンプアウトのときに思いがけない贈り物くれた他国のスカウトに「ささやかなお返ししかできず申し訳ない」という気持ちをうまく伝えることができず、言葉の大切さを肌で感じてきました。それがのちの海外留学や国際的な仕事への取り組みの出発点だったかもしれません。

他国の人と親しくなって嬉しいことや楽しい気持ちを伝え合い、共通の課題について意見を交わせるコミュニケーション力こそが本当の語学力であり、それを身につけたいと自ら感じる機会は容易には得られません。

世界中に仲間がいるこのスカウト運動は、そうした契機の宝庫です。毎年さまざまな国際交流事業があります。皆さんの大切なスカウトたちにぜひそうした好機を提供していただきたいと思います。そして一人でも多くの日本のスカウトが「より良い世界をつくる」世界のスカウト仲間の真の一員になることを願っております。





国際交流と一口にいても、さまざまな方法があります。海外派遣先での交流、日本にきた外国スカウトとの交流やホームステイの受け入れ、ボランティアや奉仕が国際交流につながることもあります。また、派遣や受け入れは日本連盟主催のものだけではなく、県連盟や地区、団（隊）で行うものもあり、方法も規模も異なります。さらに、世界スカウト機構（WOSM）が主催するデジタルイベント「JOTA（ジャンボリー・オン・ジ・エア）」「JOTI（ジャンボリー・オン・ジ・インターネット）」は、世界最大の国際交流の場です。

※ JOTA-JOTIの詳細は、本誌16頁をご覧ください。

いずれの方法でも、国際交流のねらいは、青少年が多くの国の仲間との交流を通じて、互いの文化や考え方の違いを認め合うことの大切さを学ぶことにあります。ここで、スカウティングを通じた国際交流への参加で何を得られたのか、その経験をどのように活かしているか、国際交流に必要な心構えやスカウトを国際交流に送り出した保護者の声などをご紹介します。

県連盟主催の派遣がきっかけで国際交流に興味

岩手連盟 盛岡第5団 ベンチャー副長 鷲坂 史明

私は15歳の夏に岩手連盟主催の英国派遣で初めて海外に行き、外国のスカウトと交流する楽しさを知りました。それをきっかけに海外派遣に積極的に参加するようになり、挑戦する機会、失敗する機会、失敗から学び成長する機会を多く得ました。

海外派遣に参加するなかで、国際的な環境で円滑にコミュニケーションを図り、リーダーシップを発揮する力が身についたと思います。また、ス

カウト活動の枠を越えて海外に飛び出す自信がつき、英国への留学や青年海外協力隊（アフリカ・スーダン／コミュニティ開発）への参加、さらに国連機関で勤務する経験を積むこともできました。外国語に不安があっても失敗を恐れずに挑戦し、失敗してもその失敗から学ぼうとする積極的なスカウトになるために、ぜひ国際交流に取り組んでもらいたいと思います。



日本連盟「スカウト特別派遣」に応募し、イギリスへ

大阪連盟 寝屋川第7団 ローバースカウト 親木 陽介

過去にスカウト特別派遣でカナダに行った地区の先輩に紹介されて、初めて富士スカウトのみが挑戦できる派遣の存在を知りました。それまで日本を出たことがなく不安でしたが、単純におもしろそうだと思えたこと、海外の生活を体験して海外の知り合いを作りたいと思ったこと、なにより、この派遣を完遂できたら自分自身が大きく成長できるだろうと思い応募しました。

富士スカウト章を取得したことで挑戦の機会を得られたということもあり、スカウト運動の原点であるイギリスで、自転車と電車を使って本土を縦断するプロジェクトを行いました。現地では、英国文化を体験できる機会があれば積極的に参加し、日本のスカウトとして恥ずかしくない行動をとるよう心掛けました。

一人で初めて海外での活動をして、多くの人に助けられた経験と感謝の気持ちを心に刻みました。そして、帰国後は私自身もこれまで以上に人のためになることを心がけています。さらに、何事も面倒だと思っただけでは事態が進まないことを痛感し、面倒くさがないよう努めるようになりました。心配していた語学力も少し自信がつき、今度は日韓交歓計画に参加します。

スカウト特別派遣は、正直なところ私にとっては計画も準備も大変でした。ですが、得られるものが大きく、自分の力で成長したいと思っているスカウトにぜひ挑戦してもらいたいと思いました。準備するだけでも、これまでの自分の活動とは一味違った経験をする事ができると思います。



過去3回ジャンボリーに参加

熊本県連盟 八代第3団 ローバースカウト 久保 喜一郎

私はこれまでに3つのジャンボリーに参加しました。初めて参加した第16回日本ジャンボリー(16NJ) / 第30回アジア太平洋地域スカウトジャンボリーには、母に勧められたからという理由だけで参加しましたが、そのあとに参加した第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)と昨年の夏の第24回世界スカウトジャンボリー(24WSJ)には自分の意志で参加しました。それは、16NJで国際交流のすばらしさを感じることができたからです。当時私は中学1年生で、大した英語力もありま

せんでしたが、英語が話せる隊長や班長の助けもあり、外国隊との交流会を大に楽しむことができました。その後、学校の授業によって英語力を高め、23WSJでは交流会の企画・申し込み役、24WSJではISTとして働く中で実践的な英語能力も高めることができました。海外に多くの友達ができ、現在は彼らに会うための旅行も計画しています。基本的に、頭で考えているより適当でも英語はなんとか通じます。大事なのは挑戦することだと思います。



日本から海外派遣に参加するのと同様に、外国スカウトはさまざまな交流を楽しみに日本にきます。外国スカウトの受け入れによって、そのスカウトに関わるすべての人がそれぞれの立場で国際交流を経験することができます。



初めてのホームステイ受け入れで、気持ちのつながりを実感

千葉県連盟 柏第6団 ビーバー隊保護者(受け入れ当時) 松田 真美

2015(平成27)年、日韓スカウト交歓計画で韓国のスカウトが我が家に来ました。初めての受け入れで、互いに言葉の不便等はありませんでしたが、家庭での国際交流という大変貴重な経験をさせていただきました。文明の利器(翻訳アプリ)や、互いに伝えあおうとする気持ちがあれば、意思の疎通はなんとかできるものなのだと学びました。

息子は、お兄さんが二人もできた大喜びで、みんなで入浴したり、作りかけのプラモデルと一緒に作ったり、外出中も二人の間に入って手を繋いだりと、とても仲良く過ごしました。短い滞

在でしたが、3日間一緒に過ごした彼らの存在は、我が家にとってとても大きなものになりました。息子はサッカー日韓戦で、「お兄ちゃんたちの国、韓国を応援する」と言っていました。きっとこれからも韓国と聞けば、我が家は彼らが自国で夢を叶え成長する姿に思いを馳せることと思います。

2023年には韓国で第25回世界スカウトジャンボリーが開催されるそうなので、ぜひ今度は息子が韓国へ渡って彼らと再会できたらな、と期待しています。





保護者として、息子たちを派遣に参加させて

東京連盟 東村山第6団 ポーイ隊隊長 伊藤 広道

「開会式にいた6,000人が一斉に三指で敬礼したんだ。いつもの活動が世界中に繋がっているとは思わなかった！」

「成田で初めて会う人たちとの班編成で不安だったけど、世界中に仲間がいるボーイスカウトって最高だね」

2017年の夏、第31回アジア太平洋地域スカウトジャンボリー派遣でモンゴルから帰国したときの双子の息子たちの言葉です。彼らが自ら「参加したい」といい出した当時は、中学1年生でまだ英語

も大して話せませんでした。私も妻も少なからず不安はありましたが、指導者や保護者が普段提供することができない特別な世界を、感受性豊かな時期に、彼らなりに体感して帰ってきました。

そして、昨年の夏、第24回世界スカウトジャンボリーに参加し、アメリカから帰国した高校1年生の彼らの言葉です。

「方法は考えていくけど、今回 WSJ で世話になった世界中の人たちに、いつか恩返しできるようになりたいと思う」

さまざまな形で活躍する先輩スカウトへの憧れ、身近な指導者や保護者などの大人からの声かけや同じ隊の仲間からの誘いなど、スカウトが国際交流に参加するには、何らかのきっかけが重要です。

なかには課題意識をもち自ら情報を集めて海外派遣に参加するスカウトや、国際交流の経験によって次の交流の機会を新たな目標として活動に奮起するスカウト、経験を生かして自分の夢や将来の姿を思い描いて一歩進み始めるスカウトもいますが、残念ながら「英語が話せないし、難しそうだ」と、自分から一歩踏み出せないスカウトも少なくないでしょう。スカウト運動が世界中に広がっているということを知らないスカウトは、そのことに気がつくだけで、新たな興味関心に繋がるきっかけになるかもしれません。彼らにこそ、体験者の体験談や指導者からの助言がきっかけになります。

これからの社会は国際化や物事の多様化がより一層進んでいきます。これからの社会を担うスカウトたちが、「ルック・ワイド」の精神でスカウティングの魅力のひとつである「国際性」を自らのものにしていけるよう、きっかけづくりに励みましょう。

その一歩が世界につながる

日本連盟 国際委員長 嶋田 寛

近年の日本の気象環境の変化は凄まじいものですが、スカウトを取り巻く環境の変化も SNS やインターネット環境の発展とともに、その影響度も想像を超えるものになってきました。多くの情報が溢れる中、選ぶのも行動するのもすべて個人に委ねられており、スカウト自身が考え、行動し、責任をとるという精神がより一層求められます。

国際活動は、スカウトのキャンプやハイキングと同様に、スカウト教育にとって非常に大切な要素です。リアルな体験は、バーチャルでは得られない成果があります。国際活動は文字どおり「行うことによって学ぶ」も

の、そのものです。失敗から多くのことを学んで成長することができます。

海外に出ていくことだけが国際活動ではありません。多くのことは国内での活動で実施しますし、それが海外派遣の事前準備学習になります。

より一層の多様化が求められるなか、国際交流をとおして諸外国の文化や歴史、習慣を理解することは、スカウト運動の目的である世界の「和」に向けた第一歩となります。世界各地で人道的環境が悪化し、多くの課題を抱えている今こそ、より多くのスカウトが国際活動の第一歩を踏み出すことを期待します。

※ 2020年度の海外派遣募集計画については、次頁をご参照ください。

2020年度 国際交流事業計画

2019年12月15日現在

●公募により実施する海外派遣事業

2020(令和2)年度の派遣事業として日本連盟が募集要項を作成し、公募により派遣員を選考して実施する予定のものは下記のとおりです。

No.	事業名	派遣予定期間(大会期間)		派遣の概要	募集対象		日連 推薦締切	
		派遣先(主な訪問先)	派遣予定人員		BS	VS		

BS…ボーイスカウト VS…ベンチャースカウト RS…ローバースカウト L…指導者

■個人による海外派遣

1	2020年度 カンダーシュテーク 夏季野営スタッフ派遣 ※	奉仕期間 6月上旬～9月上旬(3か月) スイス/カンダーシュテーク国際スカウトセンター 若干名	カンダーシュテーク国際スカウトセンターにおいて、夏季野営スタッフとして奉仕する	○ ○ (18歳以上 35歳未満)	締切済	自己負担額
2	2020年度 国際キャンプスタッフ計画派遣 ※	例: 6月上旬～9月下旬(2～3か月) アメリカ合衆国各地(各地方協議会野営場) 若干名	アメリカ連盟各地方協議会野営場において、夏季野営スタッフとして奉仕する	○ ○ (19歳以上 30歳未満)	1/20	自己負担額
3	2020年度 スカウト特別海外派遣 (霞会館補助事業)	個人プロジェクトによる 個人プロジェクトによる 最大2人	個人プロジェクトによる	○ ○ ○	4月予定	補償 会館 助額
4	2020年度 スカウト・オーストラリア 短期留学(学習旅行)派遣	例: 7/22～8/29(夏休み期間) オーストラリア(メルボルン、シドニー、パース、キャンベラ、ブリスベン等) 1～2人	オーストラリアの高校に短期留学(学習旅行)し、スカウト活動に参加する	○	4月予定	自己負担額

■グループによる海外派遣

1	2020年度 韓日スカウトフォーラム派遣	韓国連盟と調整中(8月実施見込み) 韓国 スカウト18人、指導者2人 計20人	両国スカウトによるスカウトフォーラムと地元見学またはホームステイ等の文化体験に参加する	○ ○	3/31	全額自己負担 韓国滞在費を除き
2	第14回 世界スカウトユースフォーラム 派遣 ※	8/17～8/21 または 8/17～8/29 (ユースフォーラムは8/17～8/21) エジプト/シャルム・エル・シェイク 5人以内	第14回世界スカウトユースフォーラムに参加する(可能な者は8/24～8/28の第42回世界スカウト会議にも参加する)	○ ○	未定	補助
3	2021オーストラリアベンチャー 派遣	(12月下旬～2021年1月上旬) オーストラリア 他 スカウト8人、指導者2人 計10人	オーストラリア連盟が開催するベンチャー大会に参加する	○ ○	未定	自己負担額
4	2021年度 フィルモント派遣 (2020年度は締め切り済)	例: 7/20～8/8(7/23～8/3) 県連盟の計画による アメリカ合衆国/ニューメキシコ州 シマロン 県連盟によるクルー編成	アメリカ連盟ハイアドベンチャーベース・フィルモント野営場のトレイルに県連盟で編成したクルーで参加する	○ ○ ○	11月予定	自己負担額

■国際協力プログラム

1	2020年度 CJK プロジェクト(調査)派遣 ※	2021年2月中旬頃で調整中 カンボジア 若干名	日本、台湾、韓国の3連盟ローバースカウトがカンボジアで国際協力プロジェクトを行う	○ ○	未定	自己負担額
---	------------------------------	--------------------------------	--	-----	----	-------

■国際会議および指導者の研修のための海外派遣

1	第10回 アジア太平洋地域サミット	(4/19～22) 韓国/全州市 若干名	地域計画の進捗状況の確認、各国連盟間の課題共有が行われる会合に連盟の代表者を派遣する	○		関係会議を通じて案内(公募はしません)
2	第42回 世界スカウト会議	(8/24～28) エジプト/シャルム・エル・シェイク 若干名	エジプトで開催の世界スカウト会議に代表6人、オブザーバーを派遣する	○ ○		関係会議を通じて案内(公募はしません)

●日本連盟主催外国スカウト受入事業

No.	名称	期間	内容・招へい国	対象	
1	2020年度 CJK ベンチャープロジェクト	3か国連盟で調整中 (8月実施見込み)	台湾、日本、韓国のベンチャースカウトを対象としたプロジェクトで、2020年度は日本で開催する	VS、L	各国10人(ベンチャースカウト9人、指導者1人) 計30人
2	2020年度オーストラリア 短期交換留学スカウト受入	11月下旬～ 2021年1月下旬	オーストラリア連盟よりスカウトを受け入れる。日本の高校に短期留学をし、スカウト活動に参加する	VS	オーストラリアからベンチャースカウト1～2人
3	2020年度 日韓スカウト交歓計画	2021年 1/9～17(調整中)	韓国のスカウトと交流プログラムに参加する	BS、VS	韓国から40人程度、日本からは交流プログラム参加者として40人程度

※印は海外派遣貸付金対象事業

世界のスカウト人口



創始者

ロバート・ベーデン-パウエル
(1857-1941)

世界スカウト機構加盟国と加盟員数

1907年にイギリスで始まったスカウト運動は、すぐに世界中に広まり、現在では4,000万人以上のスカウトたちが活動しています。スカウト活動が行われていないのは、アンドラ、中国、キューバ、北朝鮮、ラオスの5か国のみ。2019年1月にベトナムが新たに加盟し、スカウトの世界組織である世界スカウト機構(WOSM)には、170の国と地域のスカウト組織が正式加盟しています。

[正加盟] **170**の国と地域 / [合計] **4,000**万人以上

アジア太平洋地域 Asia-Pacific Region	ヨーロッパ地域 Europe Region	アラブ地域 Arab Region	アフリカ地域 Africa Region	インターアメリカ地域 Interamerica Region
31,003,786人/28か国 事務局：フィリピン	1,910,808人/40か国 事務局：スイス	294,607人/19か国 事務局：エジプト	3,483,156人/40か国 事務局：ケニア	3,884,309人/34か国 事務局：パナマ
インド 3,647,843 インドネシア 21,842,404 オーストラリア 67,668 カンボジア 28,533 キリバス 1,186 シンガポール 11,439 スリランカ 38,606 タイ 697,887 大韓民国 137,703 台湾 56,182 日本 109,687 ニュージーランド 19,487 ネパール 30,554 パキスタン 710,201 バブアニューギニア 4,980 パングラデシュ 1,372,773 東ティモール — フィジー 10,175 フィリピン 1,983,563 ブータン 24,524 ブルネイ 2,570 ベトナム — 香港 98,190 マカオ — マレーシア 70,714 ミャンマー 24,925 モルディブ 1,547 モンゴル 10,445	アイスランド 4,960 アイルランド 49,385 イギリス 618,973 イスラエル 83,332 イタリア 104,571 エストニア 1,106 オーストリア 10,028 オランダ 55,011 キプロス 5,890 ギリシャ 18,643 クロアチア 3,185 サンマリノ 273 スイス 24,616 スウェーデン 36,398 スペイン 72,973 スロバキア 7,831 スロベニア 6,133 セルビア 4,804 チェコ 53,438 デンマーク 43,282 ドイツ 117,610 トルコ 141,277 ノルウェー 21,815 ハンガリー 10,984 フィンランド 53,792 フランス 102,775 ブルガリア 890 ベルギー 107,243 ポーランド 42,146 ボスニア・ヘルツェゴビナ 3,247 ポルトガル 81,366 マケドニア 2,191 マルタ 3,100 モナコ 87 モンテネグロ 1,268 ラトビア 872 リトアニア 2,064 リヒテンシュタイン 635 ルーマニア 5,267 ルクセンブルク 7,347	アラブ首長国連邦 4,857 アルジェリア 4,150 イエメン 6,481 イラク — エジプト 83,610 オマーン 20,330 カタール 4,566 クウェート 6,061 サウジアラビア 19,269 シリア 9,358 スーダン 14,868 チュニジア 24,095 バーレーン 1,800 パレスチナ 33,643 モリタニア 3,790 モロッコ 12,304 ヨルダン 15,521 リビア 14,494 レバノン 15,410	アンゴラ 18,830 ウガンダ 116,098 エスワティニ 6,850 エチオピア 68,001 ガーナ 3,919 カーボヴェルデ 733 ガボン 3,809 カメルーン 12,030 ガンビア 15,582 ギニア 6,539 ギニアビサウ — ケニア 1,312,485 コートジボワール 7,519 コモロ 1,725 コンゴ民主共和国 103,103 サントメ・プリンシペ — ザンビア 7,396 シエラレオネ 16,162 ジンバブエ 18,312 セーシェル 286 セネガル 9,857 タンザニア 538,959 チャド 14,500 トーゴ 10,747 ナイジェリア 750,073 ナミビア 1,083 ニジェール 3,305 ブルキナファソ 11,539 ブルンジ 28,559 ベナン 7,229 ボツワナ 26,464 マダガスカル 50,599 マラウイ 50,020 南アフリカ 196,306 南スーダン 2,162 モーリシャス 5,509 モザンビーク 32,664 リベリア 2,418 ルワンダ 18,884 レント 2,900	アメリカ合衆国 3,399,147 アルゼンチン 69,637 アルバ 487 ウルグアイ 1,620 エクアドル 10,031 エルサルバドル 3,608 ガイアナ 424 カナダ 98,204 キュラソー 1,462 グアテマラ 7,299 グレナダ 1,378 コスタリカ 13,779 コロンビア 12,633 ジャマイカ 1,727 スリナム 787 セントビンセント・グレナディーン 230 セントルチア 393 チリ 27,094 ドミニカ 1,100 ドミニカ共和国 1,982 トリニダード・トバゴ 5,982 ニカラグア 1,977 ハイチ 43,618 パナマ 2,494 バハマ 1,540 パラグアイ 1,086 バルバドス 2,419 ブラジル 90,102 ベネズエラ 16,740 ベリーズ 874 ペルー 8,290 ボリビア 7,355 ホンジュラス 3,250 メキシコ 45,560
		ユーラシア地域 Eurasia Region		
		30,581人/9か国 事務局：ウクライナ		
		アゼルバイジャン 1,761 アルメニア 2,255 ウクライナ 12,335 カザフスタン 1,239 ジョージア 2,314 タジキスタン 1,055 ベラルーシ 1,050 モルドバ 2,167 ロシア 6,405		

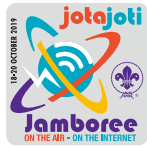
※ 人数は、WOSMの最終更新(2016年12月)に準ずる(日本は2018年度末時点)

※ 最終更新以降の加盟国は人数未集計

※ 掲載は各地域内で五十音順

世界とつながるプログラム

JOTA-JOTI 2019



2019年度ジャンボリー・オン・ジ・エア (JOTA 2019)
 2019年度ジャンボリー・オン・ジ・インターネット (JOTI 2019)
 日時: 2019年10月18日(金) 00:00 ~ 20日(日) 24:00
 場所: 日本および世界各地



世界スカウト機構 (WOSM) が主催する公式国際行事です。アマチュア無線やインターネットを活用し、国内外のスカウト仲間と交流することを目的に、毎年10月の第3金曜日から日曜日までの3日間(72時間)開催され、参加者はそれぞれ自由な時間に参加することができます。日本においても、21県連盟90グループが事前参加申請をし、実施後には24県連盟69グループから参加報告がありました。

無線や有線といった通信技術、SNSや動画共有サイトなどのインターネットスキルのほか、全世界が開催場所であるというスカウティングならではの国際性など、JOTA-JOTIにはさまざまな要素が詰まっています。

こんなことがありました (参加者の声抜粋)

- 海外の大学に留学した際に交流したスカウトとJOTIで再会することができた。
- 日本の食事やアニメのことが海外で知られていることに驚いた。アニメやゲームが世界のスカウトとの話題になることを知った。
- 制服の記章の意味や進級のことなどを興味深く尋ねられて、一生懸命に説明した。
- 携帯電話からJOTI.tvのDigitalCampfire*に動画を簡単にアップでき、海外のスカウトと一緒に参加しているという、スカウティングならではの国際性を実感した。
- パキスタンのスカウトと歌で交流をしたり、活動内容を聞いたりすることができた。
- 一度やり取りが成功すると自信につながり、「次! 次!」と、積極的に取り組めた。

* JOTI のプログラムのひとつ。

- JOTA-JOTIに参加したことのある隊や団の指導者、海外と交流があるローバースカウトに話を聞いてみましょう。

普段の活動からできること

ビーバー/カブ

- 進級課目の中に、世界の国々について調べたり、話を聞いたりする項目があります。また、チャレンジ章「技術博士」「特技博士」では、無線機の工作や無線の資格取得への挑戦などの細目があります。

ボーイ/ベンチャー

- ボーイ年代では、外国の国旗や姉妹都市、「ちかい」と「おきて」に関する進級細目があります。ベンチャー年代では、高度な野外活動の取り組みとして無線やインターネットを活用したり、個人プロジェクトとして、より専門的な取り組みに挑戦したりするのもよいでしょう。技能章「無線通信章」「ネットユーザー章」に挑戦することでも、JOTA-JOTIを楽しむためのヒントが得られます。

事前準備アレコレ

- 他言語でのあいさつや簡単な会話、質問内容を事前に準備しておきましょう。

おすすめの事前準備品 (参加者の体験から)

- 会話カード (A4用紙の表に英文、裏に日本語と英文発音を書いたもの)を用意したが、これが役に立った。
- 団の所在地や住んでいる街の情報を聞かれることが多かったので、地図や英語の説明文を準備しておくよかった。

- 日付だけでなく、時間帯や時差を考慮した交信計画を作りましょう。



進級課目や選択課目の確認、年間計画への組み入れなど、次回開催に向けて今から準備できることがありますので、今のうちから準備を重ねて新しい交流プログラムに挑戦してみましょう。

JOTA-JOTI 公式サイト

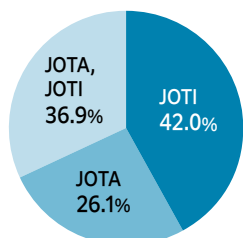
<https://www.jotajoti.info/>

日本連盟 Web サイト

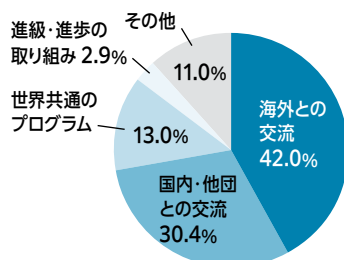
<https://www.scout.or.jp/member/jota-joti/>

データで見る JOTA-JOTI

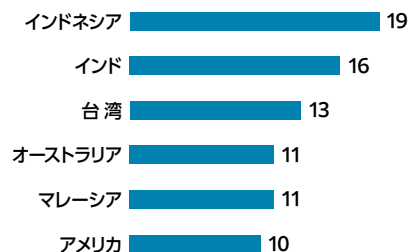
参加形態



参加目的・理由



アクセス数上位国



ニッポン全国 特別編 元気団 紹介



新潟県連盟 新潟第19団

新団発足!

2019(令和1)年、新潟県内に新たな団が誕生した。発足したのは大学ローバー。発団のきっかけやボーイスカウトに関する考え、今後の展望など、次世代を担うスカウトたちの声を聞いた。



母体は大学のボランティアセンター

2010(平成22)年、新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部の中に「ボランティアセンター」が誕生し、学年学科を問わず集まった学生がさまざまなボランティア活動に取り組み、今日に至る。

新潟連盟は近年、県内のローバー活動を活性化させたいと考えていた。そこで、既存の大学生のグループにスカウト運動を盛り上げてもらえないかと、長年ボーイスカウト活動に奉仕してきた同大学ボランティアセンター長に相談。センター長は、すでにさまざまな団体のもとでボランティア活動を実践している学生たちにとっても、ボーイスカウトという新たな経験の場を増やすことはきっと今後の糧になるはずで、学生たちは、その時その時に自分で興味のある活動を選び、挑戦できるのだから、そのひとつがボーイスカウトでもいいのかと考えた。

こうして県連盟による活動のバックアップのもと、センター長が団委員長となり、ボランティアセンターのメンバーを中心とした新潟第19団が誕生した。



同じ制服を着る仲間たち

もともとは大学のボランティアセンターのメンバーであるスカウトたち。大半はボーイスカウトをよく知らなかった。形から入る(制服を着る)ことに抵抗がある者もいた。

昨年9月に開催された新潟県連盟創立70周年記念キャンポリーに奉仕し、同じ制服を着て同じ活動に取り組むことで「仲間」という感覚を実感できたというスカウトは、「新しい団、ましてや何も知らない大学生の自分が相手にされるのか不安だったけれど、迎え入れてくれた。初めて会うビーバーやカブの子たち

は、制服を着た私たちを、仲間のお兄さんお姉さんといった感じで慕い、頼ってくれたのが嬉しかった」と話す。

県連盟のローバー代表

他団体の活動などにも励む一方、「ボーイスカウト」の魅力に惹きつけられ、ローバースカウトの全国組織「全国ローバースカウト会議(RCJ)」の県連盟代表になったスカウトがいる。

彼女は、他団体でキャンプ経験があったが、何もなかったところから自分たちで生み出すボーイスカウトのキャンプに驚き、感動に心を奪われたという。これまでのキャンプは準備された恵まれた環境だった。ボーイスカウトで、自分で生み出す苦労と面白さに気づいた。団委員長がよく使う「自己完結」の言葉の意味もよく分かった。できないことをできるようにするのは楽しい。ボーイスカウトでは、準備から最後まですべて自分たちの自己責任で行うのだ。

何もわからないまま参加した5月の全国大会では、他県から集まる多くの同年代に会い、「自分も県連盟の代表なんだ」という意識が芽生えたという。新潟ではまだまだローバーの活動が少ない。全国の仲間と出会ったことで、自分たちだからこそできること、大学ローバーならではのことを見つけていきたいと思うようになり、活動に励んでいる。

ボーイスカウトの強み

他団体での奉仕経験が多い新潟第19団のローバースカウトが、一般の子もたちと交流する機会が多いからこそ感じた、ボーイスカウトの強みを語ってくれた。

県連盟の記念キャンポリーでは、運営の手伝いをしながら、年少スカウトたちの生き生きとした姿を目の当たりにし、一般的な子どもたちとボーイスカウトの違いを感じたという。

スカウトは小さいうちから訓練を積んでいて、危険があっても大人の目がある中で自分がやりたいように挑戦し、失敗を経験して成長していくため、スキルがあり意志も強い子が多い。団体行動もできる。かといって頭でっかちなわけでもなく、休憩時間などの自由な時間には、一般の子と変わらずに遊びまわる。そ

して、ただ遊ぶだけでなく、遊び方も仲間も自分たちで見つけることができている。

支援する大人たちの中に、「こういう子に育てたい」という目的ははっきりとあるからこそ、子どもたちは自由に生き生きと活動できるのではないかと。学校だけでは学べない、人間的な学びや成長があるということも、年少スカウトとの活動を通じて学んだ。



今後の展望

発足からまだ1年経っていない。「今は助走段階」という皆さん。キャンポリーのほか、新潟県に本社を構える株式会社スノーピークのイベントなどにも奉仕し、経験を積んだ。

県連盟の期待を受け、ゆくゆくは活動に困っている地域団のスカウトがいれば一緒に活動するなど、新潟県内のローバーの中心的受け皿となっていきたいという。そして、大学ローバーだからこそ、他団体や組織ともつながり、国際的なネットワークをもつ団体として、より発展させていくことも目標のひとつに掲げた。

世に出てさまざまな形で活躍するOBOGのように、自分自身を律して、自身や活動をPRできるようにしていきたいと口をそろえるスカウトと、自信をもって地域、日本国内、世界へとスカウトたちを送り出していきたいという指導者のいる、新星 新潟第19団。今後の活躍が楽しみだ。



お話を伺った皆さん。県連盟から南雲理事長と清水事務局長もスカウトを激励に駆けつけてくださった。

スカウティングとSDGs

— 一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために —

現在、日本連盟では、国連が定める「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」の目標達成に向け、これまで取り組んできたプログラムの見直しとともに、新たな取り組みの準備を進めています。前号では、スカウト活動の中で取り組んでいることや取り組みのヒントをご紹介します。

今号では、地域や学校、職場や家でできることなど、日常生活における取り組みについて考えていきたいと思います。



日常生活から考えよう

スカウト活動は、平均して月4～6回程度ですが、日常生活は1日も休むことなく一生涯続きます。水や電気の消費、買い物などの行動は、日々の生活とは切り離すことができません。これらの中には、自分自身で見直すことのできる行動が多くあります。

学校や勤め先ではどうでしょうか。昼休み中の業務エリア、使用しない教室や会議室の電気を消灯したり、帰宅時に職場のパソコンや社内共有のサーバーの電源を落としたり、育てている植物の水やりや雨水を使用する工夫などもできるかもしれません。

仕事の場合は緊急の対応を迫られる場合などもあり、簡単にはできないこともあるかもしれませんが、できることを学校や勤め先で話すだけでも見直しに繋がるでしょう。次項で紹介する「うちエコ! アクション」では、そのヒントになる行動や削減可能な

二酸化炭素の量を示していますので、参考にしてください。

日本連盟が協力している「難民支援衣料回収プロジェクト」「おにぎりアクション」「国立公園カーボン・オフセットキャンペーン」などもSDGs活動の一環です。皆さんが参加（実施）できる取り組みは身近にありますので、ぜひチャレンジしてみましょう。

うちエコ! アクション

2020年以降の気候変動対策について、「パリ協定*」が2015年に採択されました。日本でも、「パリ協定」の温室効果ガス削減目標に対して取り組みを進めています。

私たちは、1日に平均6kgの二酸化炭素を排出しているといわれています。そのうちの1kgを削減しようという取り組みが、「うちエコ! アクション」です。自宅にいるときなど、ちょっとしたことに気をつけて二酸化炭素を削減しましょう。

まずはあなたが行動して、次は家族と一緒に、そして隊や団の仲間、地域の人々へと「うちエコ! アクション」の輪を広げることで、低炭素社会に一歩近づきましょう。

※パリ協定 2015年、パリで開催された「第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）」において採択された気候変動抑制に関する多国間の国際的な協定で、気候変動枠組条約に加盟する196か国（先進国、開発途上国を問わず）すべてが参加する公平かつ実効的な法的枠組み。

産業革命前からの平均気温の上昇を2℃より十分下方に保持し、1.5℃に抑える努力を追求することなどを目的としており、2030年度に2013年度比26%の温室効果ガス削減を目標に定めている。

項目	行動	削減 CO ²
A 群 水道の使い方	風呂の湯を利用して身体や頭を洗い、シャワーを使わない	371 g
	シャワーの使用時間を1日1分短くする	74 g
	風呂の残り湯を洗濯に使う	7 g
	入浴は間隔をあけないで、すぐに入る	86 g
B 群 買い物や食事	マイバッグを持参し、省包装の野菜を選ぶ	62 g
	水筒を持参して、ペットボトルを使わないようにする	6 g
	買い物には自家用車は極力使わずに、バスや自転車を利用する	180 g
	ゴミの分別徹底、廃プラスチックをリサイクルする	52 g
	冷蔵庫にものを詰め込み過ぎない	18 g
C 群 電気の使い方	暖房を利用する時間を1時間減らす	37 g
	暖房設定温度を22℃から20℃へ下げる	96 g
	テレビなどの主電源をこまめに切って待機電力を節約する	65 g
	炊飯器（電子ジャー）の保温を止める	37 g
	家族が同じ部屋で過ごし、暖房と照明の利用を減らす	260 g
	使わないときは、温水洗浄便座のフタを閉める	15 g
	1日1時間のYouTubeの視聴を減らす（パソコン、タブレット）	2 g
1日で削減できる CO ² の量		1368 g

全国地球温暖化防止活動推進センターの情報を参考に日本連盟で作成

おにぎりアクション

毎年10月中旬から約1か月間、「おにぎりアクション」という取り組みが実施されているのをご存じですか。

国連が世界の食料問題を考える日として定めた「世界食料デー（10月16日）」に向けた活動として、2015年から実施されているのが「おにぎりアクション」です。

おにぎりの写真にハッシュタグ #OnigiriAction をつけて各種 SNS に投稿すると、投稿者の代わりに賛同企業が寄付をするという仕組みで、世界の食料問題の解決に取り組む「NPO 法人 TABLE FOR TWO」を通じてアフリカやアジアの子どもたちに給食を届けることができます。

2019年は全世界で約30万件の投稿があり、およそ8,000人の子どもたちに1年間の給食を届けることができるそうです。

日本連盟でも、2018年からこの事業の普及に協力しています。

ボーイスカウトの食事といえば「カブ弁」。自分が握ったおにぎりを持って活動に参加することを、「食」について考えるきっかけにしてみませんか。自分でカブ弁を作ること、ご飯の大切さや世界の食料事情などを考えるきっかけにもなります。

「おにぎりアクション」を団の活動に取り入れているという報告もいただきました。キャンペーンだけで終わることなく、生きることに欠かせない「食」について、家族やスカウトとともに考えてみましょう。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsアクション・ガイド

Scouts for SDGs の取り組みで、最初の一步になる事例を集めた「アクション・ガイド」を作成しました。

普段の生活の中でできること、隊や団での活動や、もっと大きな枠組みで取り組むことなど、自分の環境に応じて取り組むアクションを考えるための資料です。日本連盟ホームページからダウンロードしてお使いください。A4で印刷して3つ折りにすれば、いつでも携帯できます。

SDGs の取り組みは、特別なことではありません。地球に生きる一人として、この豊かな地球がこれからも続いていくように、日々の生活から見直してみませんか。そして、一人ひとりが自分にできることから始めてみましょう。



アクション・ガイドより

「普段の生活の中でできること」

- 家の中の使っていない電気は必ず消す
- 買い物ではマイバッグ、食事の際にマイ箸を使う
- 使い捨ての物やプラスチックの消費を減らす
- 家の周りの掃除を率先して行い、ごみの分別をきちんとする
- 環境にやさしい移動手段で通学、通勤する
- 水を大切に。家の中で水漏れはないかチェックする
- できるだけ地元のものを買う、地産地消に貢献する

皆さんの取り組みを教えてください

皆さんが日常生活で取り組んだ事例について教えてください。皆さんの取り組みは、本誌や日本連盟ホームページなどで紹介していく予定です。スカウトも指導者も、隊や家庭で実践した事例などをぜひお教えください。

詳細は情報サイト「SCOUT PROJECT (<http://scout-project.jp/>)」よりご確認ください。

事例募集期間 1月6日(月)～3月6日(金)





第13回 日本アグーナリー

13th NIPPON AGOONOREE

We Can! ゆうじょうふかめよう友情! きずなひろげよう絆!

会期: 8月12日(水・祝) ~ 16日(日) / 場所: 福島・国立磐梯青少年交流の家

■ 予定申し込み受け付け中!

参加申し込みは、予定申し込みと確定申し込みの2段階制です。日本連盟ホームページ内13NAの申込フォームからお申し込みください。

予定申し込みがない場合、確定申し込みはできません(予定申し込み後の参加者変更は可能です)。確定申し込みをもって正式な参加申し込みとします。今後も日本連盟ホームページなどで情報を発信していきますので、ご確認ください。

予定申し込み
締め切り

2020(令和2)年2月15日(土)

ホームページでは、基本実施要領のほか、参加申し込み要領、昨年の夏に開催した現地説明会の報告書なども掲載しています。詳細はこちらからご確認ください。



<https://www.scout.or.jp/member/13na/>

COLUMN

日本アグーナリー参加者の声

13NA 実行委員 櫻井 康博

日本アグーナリー (NA) では、毎回大会開催報告書とDVDを作成しています。本コラムでは報告書に掲載された参加されたスカウト、保護者、指導者の声の一部を紹介します。

【スカウトの声】

- ▶「僕は本当に来てよかったなと思っていますことがあります。それは僕たちでカレーを作って食べられたことです。僕はお母さんのカレーが一番おいしいと思っていたけど、それと同じくらいおいしかったです」(10NA)
- ▶「外国の人と写真を撮ったり、名刺交換をしました。Aちゃんと僕で太鼓のえんそうをしました。とてもうまくできてよかったです。外国の人と友達になりました。またアグーナリーに行きたいです」(10NA)
- ▶「アグーナリーのうたもしゅわでうたったのしかったです。みんなにあえてうれしかったです。またいきたいのがんばります」(12NA)



【保護者の声】

- ▶「アグーナリーは私も子どもも初めての参加。本当にすばらしい体験の連続で感動の日々でした。子どもは楽しくて楽しくてしょうがない様子で、3日目、4日目には言葉もよく出てびっくりしました。これがアグーナリーの力なのかと驚くばかりでした。考えてみれば、ほとんどの人たちが障がい児をよく理解してくれました。このような環境で過ごすことなど日常ではありません。子どもたちはそのことを肌で感じてのびのびと成長しているのだと思います」(9NA)
- ▶「『力』って本当にすごいですね。皆様と一緒に『だいじょうぶ』と勇気が湧いてきます。あちこちの場面で声をかけていただき、そして助けていただきながら、『We Can!』のテーマどおり、たくさんの『出会い』と『パワー』と『生涯の宝物』を頂戴したのです。人の温かさを誰より知ることのできた我が子は本当に幸せ者です。この先のチャレンジにぶつかったときに乗り越えられるように、このアグーナリーで得たこと、感じたことを生かしていきたいです」(11NA)

【指導者の声】

- ▶「子どもがまったく違う顔を見せてくれた』『平地ですらよく転ぶ子どもがモンキーブリッジを渡れた』『学校で教室に入れない集団嫌いの子どもがドリームアワードの表



彰台に上がった』など、親からの感動の話です。これこそがスカウティングの真髄、アグーナリーの醍醐味だ。指導者として最も報われた瞬間である」(9NA)

国際パラリンピック委員会(IPC)では、子どもたちに共生社会への気づきを促すために、『I'mPOSSIBLE』という教育プログラムを展開しています。『I'mPOSSIBLE』は、「不可能(Impossible)だと思えたことも、考え方を変えたり、少し工夫したりすればできるようになる(I'm possible)」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージが込められた造語です。

まさに、アグーナリーの『We Can!』ともつながりますね。今夏、皆さんも福島県で行われる13NAで実感してください。

※参加者の声は、誌面の都合上、筆者の責任で一部加除修正をしています。

企業や団体とのタイアップによるコラボレーションバッジ

カブスカウト対象

“新チャレンジ章”

一昨年の春に登場した新チャレンジ章。全国の隊で展開していただき、多くの反響をいただいています。今号では、今年度加わった2種類の新チャレンジ章に挑戦したスカウトや隊指導者の声と、2020年度に新たに追加予定の2種類の新チャレンジ章をご紹介します。



ピカッと探検家



ピカッと探検家宣言！

- 自分できめた目標をまもって、学んだ知識をみんなに伝えます。
- 電気は大切な資源から作られるので、節電しようと思いました。

スカウトの声

- ゲームをしながらピカ素カードをたくさんゲットできて楽しかった。
- いろんなところから電気が買える、自由化を知った。電気の作り方がわかった。
- 電気のことがよくわかった。自然エネルギーがひろまってほしい。

指導者の声

- 発電のバランスなど、大人でも答えを見つけていない問題がある。カブは電気の勉強でよいが、ボーイ、ベンチャー、ローバーへとつながる課題になると感じた。
- 自分自身もあまりよくわかってなかったのが、スカウトと一緒にこれからの地球のことを考えられてとても良かったです。
- 漠然と施設を見学させるより、ワークブックにあるような具体的な知識目標が設定されていると、見学の目的が絞りがやすくなる。

おなかエキスパート



おなかエキスパート宣言！

- ちょうの管理はちょう大切！
- カブスカウトのおなかはいつも元気！
- おなかのことを気にしてメニューを考える。

スカウトの声

- 牛乳嫌いの弟にヨーグルト牛乳を作ってあげたら、牛乳が飲めるようになった。
- 受験対策としてトイレの時間をコントロールできるようにしたい。
- 健康レシピを親と考えてまとめられたし、おいしかった。

指導者の声

- カブ隊に上進し緊張感があったうさぎスカウトが、いきいきと自信をもって発表したことが印象的であった。
- スカウトが調べた内容が予想以上に充実していた（どうやったらウンチが朝出るのか、良いウンチを出す方法、ウンチと呼ばれる理由など）。
- 健康レシピを宿題にしましたが、予想以上にしっかりと考えてレポートしてくれました。ご家庭の関心が高く、嬉しく思いました。

新しく仲間入り！

STEM 博士



Science (科学) など4つの教育分野の頭文字をとったSTEM (ステム) 教育について、クラウドサービスの世界的企業であるセール

スフォース・ドットコム社とともに新たな章を作りました。「自然のなかでの不思議」について自分で考えて、みんなで実験することを通じて、スカウトたちの自発性や想像力、自ら考える力を養うことを目指します。

アウトドアチャレンジャー



「野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育てること」をミッションの1つに掲げるモンベル社とともに、新たな章を作りました。

挑戦する人を応援し続ける同社と、子どもたちが自然のなかで自由に遊ぶことの大切さや探求心を養うことを目指します。

大好評につき、ビクトリノックス「フィールドマスター」、リオティントジャパン「セーフティエキスパート」、FSC® ジャパン「フィールドガーディアン」は来年度も展開します。新チャレンジ章への挑戦とともに、既存のチャレンジ章などについてもスカウトの関心を高め、取り組めるようにご指導ください。

新チャレンジ章は日本連盟ホームページからお申し込みが可能です。

<https://www.scout.or.jp/member/challenge-badge/>

※ バッジによって限定数が異なります。

※ 年度内に取り組み、活動報告をしてください。



さまざまな年代の自然体験活動を実施

大和の森 高萩スカウトフィールド

昨年の秋、日本連盟の新たな野営場である大和の森 高萩スカウトフィールド（高萩 SF）において、地元の児童・生徒が豊かな自然の中でさまざまな技能やグループでの協力などを体験する、自然体験活動を実施しました。広く一般の方にも利用していただける野営場として、今後もさまざまな事業を実施していきます。

委託事業

茨城県立高萩高等学校「野外活動体験」授業

実施日：2019年9月13日（金）

参加者：1年生66人

スタッフ：高萩 SF 活用タスクチーム^{*1} 3人、他

昨年度から引き続き、学校からの要請を受けて実施した野外活動体験授業。参加した生徒たちは、初めのうちは表情が硬かったものの、さまざまな活動を体験していくにつれて次第に笑顔になり、協力して活動に臨んでいました。

※ 本事業は、高萩高等学校のホームページでも紹介されています。

国土緑化推進機構「緑の募金」助成事業

しぜんとあそぼデイキャンプ2019

実施日と参加者：

2019年10月30日（水）／松岡小学校4年生66人

2019年10月31日（木）／東小学校4年生26人

2019年11月1日（金）／東小学校6年生29人

スタッフ：ローバースカウト^{*2} 2人、NPO 法人響（プログラム協力）3人、他

校外学習の一環として、高萩市内の小学生を対象に毎年実施している日帰りの環境教育学習「しぜんとあそぼデイキャンプ」も、開催5年目を迎えました。

フィールドを活用した活動や植樹体験のほか、これからの100年につながる森作りに対して自分たちに何ができるかを考える時間も設け、普段の生活では体験できないことに挑戦する機会を提供しました。

高萩市委託・共催事業

親子キャンプ

実施日：第1回11月2日（土）～3日（日）、第2回11月3日（日）～4日（月）

参加者：高萩市内の児童・幼児と保護者21家族58人

（第1回：11組の親子31人、第2回10組の親子27人）

スタッフ：ローバースカウト^{*2} 6人、茨城県連盟所属指導者2人、他

主催：高萩市高萩スカウトフィールド活用事業実行委員会

共催：ボーイスカウト日本連盟、高萩市教育委員会

小学生以下の親子で参加する1泊キャンプを実施。このキャンプでは、体験活動を通じて自然を感じ学ぶこと、親子の絆を深め、他の家族との交流を広げる機会を提供しました。

日本連盟からは山内常務理事（上記実行委員長）、高萩市からは大部市長、鈴木副市長、大内教育長が、激励に駆けつけました。

実施後、5段階評価でアンケートを実施したところ、保護者は「とても良かった」が71%、「良かった」が29%、子どもは95%が「とても良かった」、残りの5%も「良かった」と回答し、「高萩 SF ができたことは知っていたけれど、初めて来てみてとても良いところだと思いました。夏にも来たいです」「夜の本当の暗さや静けさを子どもに味わわせることができ、協力することで成功するということも学べる良い機会になりました」といった感想が寄せられました。

※1 高萩 SF 活用タスクチームは、実施可能な常設プログラムの開発および提供、施設を活用した事業展開や利用促進を主な任務として日本連盟プログラム委員会のもとに設置しています。

※2 今年度の日本連盟事業計画の成果目標のひとつである「RS 活動の充実」、「RC」への支援の拡大の一環として公募。ローバースカウトの野外活動に関する知識と技能、指導力の向上や自然環境保護への関心を高める機会にしました。

多様なアイデンティティ

1. LGBT とは

LGBTという言葉が浸透して久しくなりました。LGBTとは、Lesbian (レズビアン：女性同性愛者)、Gay (ゲイ：男性同性愛者)、Bisexual (バイセクシュアル：両性愛者)という性的指向、Transgender (トランスジェンダー：性別越境者)という性自認の頭文字をとったもので、セクシュアル・マイノリティ (性的少数者)の総称のひとつです。

性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということです。これは自分の意志で選ぶというより、多くの場合、思春期に「気づく」ものです。

また、性自認 (性の自己認識)とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということです。「心の性」といわれることもあります。多くの方は「身体の性」と「心の性」が一致していますが、「身体の性」と「心の性」が一致せず、自身の身体に違和感をもつ人もいます。

LGBTの人口規模に関する公的な統計データは存在していませんが、日本の人口におけるLGBTの割合は約8% (13人に1人)といわれています。こうしたことから、一定数の人がいるということは事実です。

2. さまざまな性のあり方

前項では、LGBTについて紹介しましたが、セクシュアリティはLGBTとそうではない人でくっきりと分かれているわけではなく、さらにさまざまな性のあり方が存在します。

Xジェンダー (「心の性」が男女どちらかに規定できない/しない人) や Aセクシュアル (無性愛者：性的指向をもたない人)、ノンセクシュアル (非性愛者：恋愛感情をもって性的欲求を抱かない人)、パンセクシュアル (性的指向が性別にとらわれない人)のほか、インターセックス (性分化疾患：解剖学的、遺伝子的な性の発達が先天的に非定型的な状態の人)や、異性の服装を好んで着用するトランスヴェスタイト/クロスドレッサーという人もいます。

いずれのアイデンティティも、分類することが大事なのではなく、その多様性が認められ、あらゆるアイデンティティの人が生きやすい社会になることが大切です。

3. LGBT への取り組み

LGBT当事者の中には、性的指向や性自認をカミングアウト^{*1}することによって、「自分を偽ることなく生きたい」と思っている人が数多くいます。一方で、「カミングアウトをすると、これまでの人間関係が崩壊してしまうのではないだろうか」「友人、学校、職場等から否定的な反応がかえってくるのではないだろうか」と悩んで、カミングアウトできない人たちもいます。カミングアウトは、自分のセクシュアリティを受け入れ、肯定する過程でもあり、自分らしく生きていくための手段のひとつです。

性は多様で個人の尊厳に関わる重要な問題といわれています。今日では、あらゆる人々に配慮し、以下のようなさまざまな対応がなされるようになりました。

- ① 性別などに関係なく、誰でも使えるトイレを設置する
- ② 書類から性別の欄をなくしたり、自らの意思で自認する性を書き込めたりするような形にする
- ③ 就職活動でLGBTへの配慮をする
- ④ 自認する性別の制服、衣服や体操着の着用を認める など

このように、あらゆる多様性を受け入れるために、私たちは常に考え続ける必要があります。

4. スカウト活動での取り組み

世界スカウト機構 (WOSM) では、「第24回世界スカウトジャンボリーで、若者と大人を危険から守ります……スカウティングは、男性と女性のメンバー、異性愛者、ゲイの男性、レズビアン女性、バイセクシュアル、トランスジェンダーの人々を歓迎します」との告知を行っており、LGBT問題を広く受け入れています。^{*2}

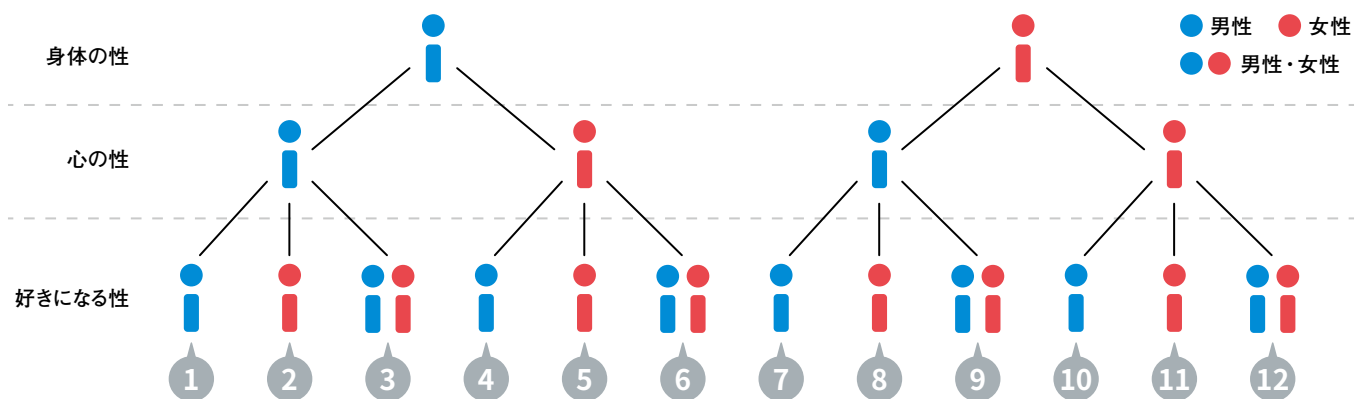
今後、日本連盟でもどのような取り組みを行うのが研究課題となっています。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会



あなたのセクシュアリティは？

以下の図はとても簡略化された図ですが大まかな自分の性のあり方が分かります。



(「TOKYO RAINBOW PRIDE」 <https://tokyorainbowpride.com/lgbt/> より)

*1 カミングアウトとは、Coming out="coming out of the closet"のこと。「クローゼットに押し込まれている状態」から出て、陽のあたる場所に自分を置く決意のことです。

*2 24WSJのSfHのページより抜粋 <https://www.2019wsj.org/about/safe-from-harm/>

ローカルホットライン Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ⊗……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他



高知

海外派遣報告のために高知県知事を表敬訪問

高知第8団 団委員長 永野 隆史

2013(平成25)年にボーイスカウト韓国連盟木浦地域連合会と高知県連盟が交歓交流協定を締結し、翌年8月に開始した交歓交流が今では恒例となりました。昨年8月には、ボーイ隊2人、カブ隊1人のスカウトが3泊4日で韓国・木浦市を訪問し、韓国のスカウト家庭でのホームステイ等で交流を深めました。

この韓国訪問と第24回世界スカウトジャンボリーに参加したスカウト1人の計4人

が、高知県連盟長である尾崎県知事へ海外派遣の報告を行いました。尾崎県知事からは「それぞれ国際交流の経験の中から得るものが多かったと思います。この経験を大いに生かして将来国際人としての活躍を期待します」とエールをいただきました。

スカウトたちは初めての海外経験に刺激を受け、もっとたくさんの国のスカウトたちと交流をしたいと、10月にはJOTIに初めて参加しました。

大阪 □ 今年もやったよ

大阪第166団 ビーバー隊隊長 山下 善久

「ワァ!ここにあるよ」「こっちにはペットボトル!」と、あちこちで声が上がリ、たちまちゴミ袋がいっぱいになりました。

昨年10月20日(日)に、27年間連続して実施している大阪天王寺ロータリークラブとの合同清掃奉仕活動を行いました。今回は、四天王寺学園のインターアクトクラブの生徒さんも参加していただき、総勢69人が参加しま

した。

南港通の歩道の植え込みを中心に清掃しましたが、歩道はきれいなのに植え込みの中には空き缶やペットボトル等が大量に隠れていました。特にコンビニ付近の植え込みに目立って多いことには驚きました。

お昼には、団委員長さんが用意してくださった温かいスープとおにぎりをいただきました。



福岡 □ アウトドア講習会 in 脇山野営場

県連盟副コミッショナー 郡島 三暁



昨年10月26日(土)、福岡県連盟脇山野営場において、(株)スノーピーク、ボーイスカウト福岡県連盟、あぐり倶楽部(地域の農業青年団体)、早良南部実行委員会の官民4者連携による「アウトドア講習会 in 脇山野営場」を開催し、興味はあるものの一度もキャンプをしたことのないキャンプ初心者12グループ42人に参加いただきました。

スノーピークスタッフによるドームテントとタープの立て方講習に続き、福岡県連盟スタッフがボーイスカウトのモデルサイトの説明と簡単なロープ結

びの講習を行いました。参加者の皆さんは、立ちかまどや食器棚などの野営工作物にとっても驚かれていました。また、ハサミ縛りを使って簡単なテーブル作りにも挑戦し、作る喜びを味わっていただきました。最後に、あぐり倶楽部による地場農産物(米・紅茶)の試食試飲会と歓談を行い、盛りだくさんの半日プログラムで、参加者からは「これからぜひキャンプをしたい」「脇山野営場を使いたい」といった声が聞かれました。

信仰奨励

「行うことによって学ぶ」
カブスカウトの集会から

信仰奨励委員会 町田 正照

先日、地区の「くまキャンプ」に奉仕してきました。くまキャンプは、月の輪集会の導入として、地区内のくまスカウトが集まり、ボーイ隊の活動を体験することに主眼をおいています。

7人程度の班を編成し、班長役はベンチャースカウトが務めます。次長は、くまスカウトです。くまスカウトの班をまとめるにはベンチャー1人では大変なことから、ローバースカウトを班の支援につけ、班ごとに活動します。楽しい活動になるように工夫し、ボーイ隊への期待を膨らませて進捗できるようにします。

さて、この集会では、朝礼の後にスカウトタウン・サービスを実施するのですが、班ごとに班長を中心に行っています。くまキャンプは今年で7回目になりますが、最初のころ、班長であるベンチャースカウトの中には、自身でスカウトタウン・サービスを行ったことがないというスカウトもあり、事前の班長訓練の集会でアドバイスをしていた時期もありました。最近では、ほとんどの班長役のスカウトが信仰奨励章を取得していることもあり、特に構えることもなく上手に実施してくれます。きっと、今回参加したくまスカウトたちも、先輩(班長)のスカウトタウン・サービスで何かを感じてくれたのではないのでしょうか。そして彼らも先輩たちのように、5年後には班長役として奉仕してくれることと思います。

そんなスカウトタウン・サービスですが、各隊指導者の指導に加え、やはり「行うことによって学ぶ」の成果ではないかと感じています。ぜひ、色々な場面でスカウトタウン・サービスを行って(行わせて)いただきたいと思えます。

一方で、指導する指導者は、自分自身が明確な信仰をもつことが大切です。明確な信仰に基づいて語られる言葉は、スカウトたちの心に響き伝わると思えます。そして、その言葉は、スカウトたちの信仰心を育てることに繋がります。

信仰心を育てることは、「ちかい」と「おきて」の実践をより深めることに繋がっていきます。今一度、信仰心について考えてみましょう！

子(ね)の年「アタマの黒いネズミ」



子どものころ、末っ子のわたしは、兄弟の中で誰よりも早く学校から帰宅していた。腹すかしの暴れん坊は、目につくおやつは兄や姉の分を考えずに持ち出し、そのほとんどを遊び仲間と食べ合っていた。

兄や姉がおやつ存在を知らないままでいたある日、夕食のあと母が兄と姉におやつ感想を聞いたことでそのことがばれ、わたしは非難やたしなめの集中砲火を浴びることとなった。そのとき父が「この家にはアタマの黒いネズミがいるんだね」と母と笑いながら、憤懣やるかたない兄と姉の罵声とともにわたしに呟いたのだ。

そのときには「アタマの黒いネズミ」がわたしを指しているとは知らず、本当にアタマの黒いネズミがいて、素知らぬフリをする後ろめたいわたしの子ども心を、ほんの少しだけ助け舟として和らげてくれた。

ネズミといえば父の言葉を思い出す今年2020年は、十二支・子(ね・ネズミ)の年。十二支の一番目になぜネズミが位置するかというと、中国の故事にこんな言い伝えがある。

干支の順番を決めるレースで、ネズミが猫には別のレース開催日を教え、牛の背中に乗ってスタートして移動したあげく、ゴール手前で牛から飛び降りてトップに躍り出た。ネズミは悪知恵をはたらかせる小ずるい奴で、それ以来だまされた猫に追いかけていらしい……そんなことでネズミにまつわる諺や言い伝えは、どんな世界でも毒害となる存在がいるという「家にネズミ、国に盗人」や「窮鼠猫を噛む」「袋の鼠」など、おくびょうで嘘をつきドロボウに例えられるなど、その多くが悪いことばがほとんどだ。

そんな中、かつてネズミとドロボウという二重の汚名を付けられた「鼠小僧・次郎吉」の話が、188年過ぎた今現在でも言い伝えられている。

江戸時代後期の天保年間1832年のころに

捕縛された鼠小僧・次郎吉は、それまでの10年間に荒らした屋敷が95か所、839回、盗んだ金3千両余り、との供述が江戸・北町奉行の取り調べ覚え書きに残されている。

当時の3千両は今の金額に換算すると、驚くことになんと2億4千万円以上！

武士階級が絶対であった江戸時代において、大名屋敷を専門に徒党を組むことなく、たった一人で盗みに入ったことから、江戸時代における反権力の具現者のように扱われ、巷では「汚職大名や悪徳商家から金銭を盗み、金に困っている貧しい庶民らにそのほとんどを分け与えた」という伝説が残されている。この噂は彼が捕縛される9年も前から流れていたらしく、事実、彼が捕縛されたあとに行われた役人による家宅捜索の記録には、まともな家財道具ひとつ無く、盗まれた金銭のほとんどが発見されなかったと記されている。

鼠小僧は賭博好きでもあったが、盗みに手を染め早くに親に勘当され、ほとんどの肉親とは縁が切れていた。数人いたという妻や妾にも捕縛直前に離縁状(離婚証明)を渡していたため、天涯孤独の身としてたった一人で磔獄門の刑を受けたという。この自らの行いに対し、あらゆる人々を巻き込まずに済ませたということも、鼠小僧が義賊として扱われる要因のひとつとなっている。

さてさて、そんな時代と重なる組織的汚職、隠蔽、大ウソがまかり通る昨今、令和2年、子の今年、ボーイスカウトの少年少女たちよ、決して「悪い大人たち」を真似るでないよ！と義賊・鼠小僧次郎吉の心の叫びが聞こえるのは、かつて「アタマの黒いネズミ」だった小学58年生のわたしばかりではないだろう。

～ウソはドロボウのはじまり～の思いを新たに、心も行いも誠実に、そなえつつねに。忘るべからず！ 2020年、子の年が良い年でありますように。

イラスト & 文：伊東孝志

いとうたかし／南国・無人島へのシーカヤック放浪旅をこよなく愛する、奄美大島生まれの小学58年生。ヤドカリを人生の師と仰ぎ、筆先に北斎を見つめ、水彩の楽描(らくがき)を糧として、奄美・沖縄～東京を拠点にアウトドアライフな、古今東西南北の日々を漂流する。
●伊東孝志ブログ「道草楽描／みちくらがき」～ <http://michikusa-rakugaki.blogspot.com/>

森から街へ……

村、町、都会の姿を 観察しよう。

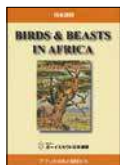
ボーイスカウト活動の基本はハイキング、キャンプなどの野外体験。野外を教場として「観察と推理」の力を育み、美しい自然とその偉大な力の一端を知ります。

しかし、ボーイスカウトの活動はそこにとどまりません。スカウトなら、人々が集まり、自然の恩恵を受けて生活している地域（村、町、市、大都会など。今号では「街」と記します）で役に立つ人になりたいものです。そのためには、まず、街の姿を見ることから始めましょう。



スカウト運動の創始者ベーデン・パウエル(1857-1941)が描いた、ケニア奥地のニエリ村に住むさまざまな職業の人々（『アフリカの鳥と動物たち』より）。

B-Pが晩年の穏やかな日々を過ごしたこの地は、自身の記述によれば、ホテル、「どんなものでも売っている」インド人の商店、教会、郵便局、裁判所や飛行場まである大きな村でした。住民もイギリス人、インド人、ソマリア人、キクユ族などさまざま。B-Pはどのような人が村のどこに出かけ、どのような仕事をしているかなど、村の姿をよく観察していました。だからこそ、このような多彩なイラストを描けたのではないのでしょうか。



『アフリカの鳥と動物たち』

2007年 日本連盟発行。
原本は1938年刊



『漫画 君たちはどう生きるか』

2017年/マガジンハウス/本体1,300円

マガジンハウス社からは、活字の本も出ている。



吉野源三郎

『君たちはどう生きるか』

1982年/岩波文庫/本体970円

著者自身の解説と、著名な政治学者・丸山真男の考察が読める。この考察は、スカウトには難しいが、指導者なら読んでおきたい。

コペル君の「観察体験」

読者の皆さんは「コペル君」をご存じですか？

吉野源三郎作『君たちはどう生きるか』の主人公。コペル君は戦前の旧制中学に通う2年生、満14歳の多感な少年です。おじさんのアドバイスを受けながら、毎日のいろいろな悩みや疑問を解決していきます。著者は編集者であり児童文学者で（1981年没）、1937年に刊行されたこの作品は、たくさんの人に読まれました。

2017年には漫画版が出版され、活字本とともにベストセラーとなっていますから、読んだスカウト、指導者も多いのではないのでしょうか。

はじめの方から引用してみましょう。コペル君はおじさんと一緒に銀座の三越百貨店の屋上から、東京の街を見下ろしています。

びっしりと大地を埋めつくしてつづいている小さな屋根、その数え切れない屋根の下に、みんな何人かの人間が生きている！ それは、あたりまえのことでありながら、改めて思えば、恐ろしいような気のすることでした。現在コペル君の眼の下に、しかもコペル君には見えないところに、コペル君の知らない何十万という人間が生きているのです。どんなにいろいろの人間がいることか。こうして見おろしている今、その人たちは何をしていますか。何を考えているのでしょうか。（岩波文庫『君たちはどう生きるか「一、へんな経験」』より）

こうしてコペル君は、小さな人間という「分子」が絡み合って網目を作り、世の中の動きを作っているのではないかと推理をするのです。

作者吉野源三郎は、この小説で、広い視界のもとで実物を自分の眼で観察することが次の推理を促す、と訴えたかったのではないのでしょうか。

街観察のポイント

さて、コペル君のように発展はしないまでも、自分が住む街や訪れた街の人々やその生活を知るには、街そのものをよく観察しておくとう理解が進みます。

街を観察するには以下のポイントを押さえるとよいでしょう（最初の4項目は、下記の参考書『県都物語』より、一部表記を変えて引用しました）。

① 自分の住む街を旅する

まずは、なじみの街を「旅人の眼」で観察してみる。

② 街の成り立ちを知る

図書館、博物館、ホームページなどで調べてみる

③ 地図や古い写真をよく見る

地形と街の骨格、その移り変わりがよくわかる。

④ 地名を手がかりにする

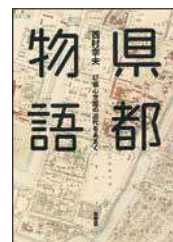
本町、古町、新町などの地名に注目しよう。

そこで
まずは、

① コペル君のように高い所を見つけ、街を見渡す。
（上から全体を見る）

② その街の特徴のある地域を選び、歩いてみる。
（横から部分を見る）

とよいでしょう。



西村 幸夫著

『京都物語』

—47都心空間の近代をあるく—

2018年/有斐閣/本体3,600円

都市工学者である著者が、実際に現地を歩き、県庁所在地である京都の成り立ちをひもとく。

地図や写真も豊富で、大変わかりやすい。都市探検のノウハウ伝授も親切だ。

スカウトなら地図を持って城山に!



宇和島市街。城山があり、丸之内、広小路、天神町、弁天町、築地町、住吉町など、港をもつ城下町らしい地名が見える。
国土地理院2万5千分1地形図「宇和島」（平成29年2月調整）より寸尺



①宇和島城天守閣 ②天守閣より北西を望む(見えるものは地図参照) ③城山南にある標高10.4mの一等水準点 ④お遍路さんも訪れる街だ(JR宇和島駅で)

スカウトにお勧めなのは、以下のようなメリットがある城山探検ハイクです。もちろん地図を持ち、ケーブルカーなどがあっても自分の足で登ること。

- かつて殿様がいて侍が活躍した城や城跡に登るのはロマンチック。
- 天守閣が残っていればなおよいが、高い城山からは、街の全景が見られる。地形や地名を地図と照合しよう。
- 山、川、海など、街が恩恵を受けている自然

を広く見ることができる。

- 城山は公園になっていたり、他の史跡、歴史資料館などがあつたりするので、年代によるスカウトの部門に応じたプログラムができる。
- 城山に登るまでにその街らしい道歩くことができる。

ただし、街のハイクは、スカウトが喜ぶゲーム性のあるラリー形式にするなどの工夫がほしい。ここでは城山の一例として、愛媛県・宇和島城を紹介しました。

街を自分の目で観察し、さまざまな住民が仲良く暮らすための工夫を見つけましょう。それは街の伝統を支える寺院や神社、学校、商店街がかもしれませんし、最近便利になったショッピングモールや駅などの公共施設かもしれません。何回も通わないとわからないものもあるでしょう。

すぐわかること、たとえば大地震、台風、津波、川の氾濫などの災害に遭った場合、この街の人はどこにどのように避難するかは、どの街に行っても学んでおきましょう。

普通の日常生活を送るには何が大事かを推理することが、街の観察の目的だともいえるのではないのでしょうか。誰もが自分の街で健康で文化的な生活を続けられるために、スカウトの「観察と推理」の力をおおいに発揮しましょう。



平和な街を願って



ビルが立ち並ぶ市街と被爆解説板(広島駅南の比治山公園より)

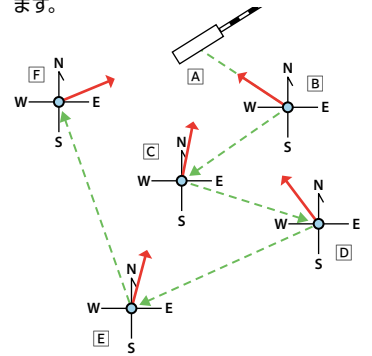
『県都物語』によれば、先の大戦後(1946年)、指定対象外だった那覇市を除く46県都のうち31が戦災都市とされました。街は焼け野原となり、焼失した天守閣もあります。

70年以上たった今では、その惨状は外見からではなかなか知ることができませんが、その痕跡を見逃さないようにしましょう。

街歩きは二重の意識で

班ごとに分かれて、広い街を歩くことがあるかもしれませんが。知らない道に行く場合、①自分が東西南北のどの方向に進んでいるか、と同時に ②拠点A(出発点や帰路に着くための再集合する駅前広場など)が今、前後左右どの方向にあるのかを意識するようにしましょう(赤い矢印)。道に迷わず街歩きをする秘訣でもあります。

詳しくは下記の新刊『自然は導く』で「ホーム＝センター方式」として紹介されています。



ハロルド・ギャティ著 岩崎晋也訳 『自然は導く』 人と世界の間係を変える ナチュラル・ナビゲーション 2019年9月/みすず書房/ 本体3,600円

本誌2019年5月号でトリスタン・グリーン『失われた、自然を読む力』(原本は2014年刊)を紹介したが、グリーン本より数十年も前に出版されたナチュラル・ナビゲーションの古典がようやく翻訳された。

電子計器のない時代、空と海で経験を積んだ著者(1903-1957)のまさにナビ元祖本(1958年刊)。内容の性格上現在でも十分通用する。また、ベーデン・パウエルの業績についても触れているのはうれしい。

日本連盟情報 Jan. 2020

12月中旬までの会議・研修など

10月

- 10日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第11回、通算第61回)
- 10日(木)～14日(月)
● ウッドバッジ実修所BS 課程第199期
- 11日(金)～14日(月)
● ウッドバッジ実修所BVS 課程第43期
- 12日(土)～14日(月)
● 団委員実修所第26期
- 13日(日) ● 次世代につなげるスカウト運動セミナー(千葉)
● 全国防災キャラバン2019(岩手)
● 全国防災キャラバン2019(埼玉)
● 全国防災キャラバン2019(鳥根)
- 14日(月) ● 共済運営特別委員会(第3回)
- 15日(火) ● 100周年記念史編纂委員会(第17回)
- 16日(水) ● 信仰奨励委員会(第3回)
- 18日(金)～20日(日)
● 2019年ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA) / ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)
● 全国県連盟コミッショナー会議(第2回)
- 20日(日) ● 全国防災キャラバン2019(千葉)
● 全国防災キャラバン2019(三重)
● 全国防災キャラバン2019(京都)
● 全国防災キャラバン2019(福岡)
● 全国防災キャラバン2019(熊本)
- 22日(火) ● 全国防災キャラバン2019(鹿児島)
- 24日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第12回、通算第62回)
- 26日(土) ● 指導者養成委員会(第3回)
● 全国防災キャラバン2019(秋田)
- 26日(土)～27日(日)
● 第13回日本アグリー総合サービスセンター専門部会(第2回)
● 第13回日本アグリー活動サービスセンター専門部会(第2回)
● 第13回日本アグリー安全・危機管理専門部会(第2回)
● RCJ運営委員会(第3回)
- 27日(日) ● ディレクター会議(第3回)
● 団支援・組織拡充委員会(第3回)
● 社会連携・広報フォーラム(北海道)
● 社会連携・広報フォーラム(千葉)
● 全国防災キャラバン2019(青森)
● 全国防災キャラバン2019(高知)

- 30日(水) ● しぜんとあそびデイキャンプ2019
- 31日(木) ● スカウト用品経営会議(第3回)
● しぜんとあそびデイキャンプ2019
- 31日(木)～11月4日(月)
● ウッドバッジ実修所VS 課程第31期

11月

- 1日(金) ● しぜんとあそびデイキャンプ2019
- 1日(金)～5日(火)
● ウッドバッジ実修所BS 課程第200期
- 2日(土) ● 県連盟ローバースカウト部門担当コミッショナーのつどい(東会場)
- 2日(土)～3日(日)
● 高萩市委託事業 小学生親子キャンプ
- 3日(日) ● 県連盟ローバースカウト部門担当コミッショナーのつどい(西会場)
● 安全促進フォーラム(神奈川)
- 3日(日)～4日(月)
● スカウトソング研修会
● 高萩市共催事業 小学生親子キャンプ
- 4日(月) ● 第18回日本スカウトジャンボリー企画委員会(第3回)
- 5日(火) ● 運営会議(第7回)
- 7日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第13回、通算第63回)
- 8日(金)～10日(日)
● CJK 事務局長会議(韓国)
- 9日(土) ● 天皇陛下御即位をお祝する国民祭典奉仕
● 第13回日本アグリー実行委員会(第4回)
● 導入訓練課程改定作業チーム会議(第2回)
● 全国防災キャラバン2019(岩手)
● 全国防災キャラバン2019(長野)
- 9日(土)～10日(日)
● 全国組織拡充担当委員長会合
- 10日(日) ● 祝賀御列の儀奉仕
● 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会(臨時)
● 次世代につなげるスカウト運動セミナー(長野)
- 13日(水) ● スカウトと社会をつなぐ場所(第15回)
- 16日(土) ● 次世代につなげるスカウト運動セミナー(群馬)
- 16日(土)～17日(日)
● 全国事務局長会議
● 安全促進フォーラム(広島)
● 全国防災キャラバン2019(佐賀)
- 21日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第14回、通算第64回)
- 22日(金)～24日(日)

- 団委員実修所第27期
- 23日(土) ● BVS・CS 部門検討タスクチーム会議(第5回)
● 第13回日本アグリーインフォメーションセンター専門部会(第2回)
● 社会連携・広報フォーラム(神奈川)
● 社会連携・広報フォーラム(岐阜)
● 全国防災キャラバン2019(山梨)
● 全国防災キャラバン2019(愛知)
- 24日(日) ● スカウト教育推進会議(第3回)
● 全国防災キャラバン2019(富山)
● 全国防災キャラバン2019(滋賀)
● 全国防災キャラバン2019(兵庫)
● 全国防災キャラバン2019(大阪)
- 25日(月) ● 専務・常務会(第4回)
- 30日(土) ● 中途退団抑止特別委員会(第8回)
● 2019年度日韓スカウト交歓計画に関する打ち合わせ会
● BS・VS 部門プログラム実証説明会
● 全国防災キャラバン2019(福井)
● 全国防災キャラバン2019(愛知)

12月

- 1日(日) ● 社会連携・広報フォーラム(宮城)
● 社会連携・広報フォーラム(奈良)
● 社会連携・広報フォーラムおよび次世代につなげるスカウト運動セミナー合同開催(沖縄)
● 全国防災キャラバン2019(埼玉)
- 2日(月) ● 防災危機管理タスクチーム会議(第2回)
- 3日(火) ● 運営会議(第8回)
- 4日(水) ● 社会連携・広報フォーラム小委員会(第6回)
- 5日(木) ● 社会連携・広報委員会定例打ち合わせ会(年度定例第15回、通算第65回)
- 7日(土) ● 第24回世界スカウトジャンボリー派遣実行委員会(第4回)
- 7日(土)～8日(日)
● 県連盟ディレクター研究会
● 全国防災キャラバン2019(神奈川)
- 8日(日) ● 全国防災キャラバン2019(神奈川)
- 9日(月)～11日(水)
● 世界ノンフォーマル教育フォーラム・世界スカウト教育コンgres(第3回)
- 11日(水) ● 100周年記念史編纂委員会(第18回)
- 12日(木) ● 財務委員会(第3回)
- 15日(日) ● 次世代につなげるスカウト運動セミナー(埼玉)
● 次世代につなげるスカウト運動セミナー(愛知)

作品募集中

第47回
全国ボーイスカウト
写真コンテスト

47回目の開催になる全国ボーイスカウト写真コンテスト。ボーイスカウトならではの特徴的な活動やスカウトの笑顔など、各年代のスカウト活動やボーイスカウトの魅力を発信する写真をぜひご応募ください。

テーマ：ボーイスカウト

サブテーマ：「笑顔」「野外活動」「友情」

※少年の部はテーマ自由

- 部門 「少年の部」 撮影者が中学生以下
「青年・成人の部」 撮影者が高校生以上
- 締切 2月29日(土) 当日消印有効
- 発表 本誌5月号に掲載予定(入賞者には直接通知します)
- 審査委員長 田沼武能氏(写真家)



祝！文化勲章受章

全日本写真連盟会長
田沼武能氏

2019年10月、元日本写真家協会会長で現在は全日本写真連盟会長を務めておられる写真家の田沼武能氏が、写真分野としては初めての「文化勲章」を受章されました。受章、おめでとうございます！

田沼氏は東京・浅草の写真館に

生まれ、少年時代は現在の台東第1団(東京第2隊)の前身である「大谷健児団」でボーイスカウト活動に参加していました。その後、戦前戦後を通じて活躍した写真家の木村伊兵衛氏のもとで修業を積み、90歳になった現在も現役で国内外を飛び回り、世界中の子どもたちを数多く撮り続けていらっしゃいます。

全国ボーイスカウト写真コンテストは、2003年から15年以上にわたり、審査委員長をお務めいただいています。

応募方法および応募上の注意は、日本連盟ホームページでご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/47thphotocontest/>



セーフ・フロム・ハームの取り組み

思いやりの心ってなあに



昨年7月、思いやりの心を育む教材「思いやりの心ってなあに」を各団1部ずつお送りしましたが、集会等でお使いいただいているでしょうか。

この教材は、ビーバースカウト、カブスカウト向けですが、ボーイ隊以上のスカウトや指導者の皆さんにも取り組んでいただければと思います。セーフ・フロム・ハームのサイト

でダウンロードが可能ですので、ぜひ、ご利用ください。

なお、現在「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会では、ボーイスカウト以上が対象の教材を作成しておりますので、楽しみにお待ちしております。

また、こちらのQRコードより、教材「思いやりの心ってなあに」のアンケートにご協力ください。よろしくお願



日本連盟 セーフ・フロム・ハーム サイト

<https://www.scout.or.jp/sfh/>

登録前研修 (eラーニング)

現在、2020年度登録前研修 (eラーニング) の受講が可能です。今回から、指導者に加え、ローバースカウトも全員受講対象になりました。

パソコンだけではなく、携帯電話からも受講できます。受講後に生成される修了証を所属の団委員長へ提出してください。また、オンラインで受講できない方は、ホームページよりテキスト版データをダウンロードして研修を行い、同意書を団委員長へ提出してください。

維持会員 (敬称略)

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

ご支援ありがとうございます 2019年 9~10月度

- 【北海道】** BS松戸8育成会 星野電気(株) (株)第一印刷所 前田 和道 BS千歳1 矢島 巖
- 【青森】** 小畑 修平 高瀬 厚太郎 大熊 重男 川島 明 河村 育雄 照井 大観 延原 昌樹 門倉 等 松蔭 弘一 今 淳 境 紳隆
- 【岩手】** 中川 和之 BS吉里吉里地区 スカウト育成会 関水 直行
- 【宮城】** 高地 君江 東海林 良雲 石川 雄司 渡辺米穀店 亀田 幸成 渡辺多喜子 河川 友喜
- 【秋田】** BS川崎53 大河内 幸久 BS横浜131 津谷 正毅 BS相模原7
- 【山梨】** 西野 一 柏木 良二 河野 潤 渡部 訓之
- 【福島】** 【東京】 村上 正人 増田 嘉一郎
- 【茨城】** 吉田 誠 松原 秀典 久米 邦典
- 【栃木】** 岡村 奈奈 源田 俊昭 林 栄治郎
- 【群馬】** 岡田 勇次 中曾根 秀 金田 一 榎井 健文 月出 毅
- 【埼玉】** 渡辺 健文 入江 美勝 戸部 恵一 松浦 克昌
- 【千葉】** 高橋 寿郎 山本 誠一 萩野 茂 関 憲一 黒木 晃 大野 嘉彦 河辺 尚孝 本間 清 榊岡 隆之 山口 明 中村 光伸 (学)新潟総合学院 太田 大州 石本 金属(株) BS流山3 新潟総合警備保障(株)

- 【京都】** 森川 義憲 BS奈良19 田中 公郎 池村 将勝 桑原 仙溪 熊井 猛浩 橘 重十九 同志社大学 スカウトOGOB会
- 【兵庫】** 南平 栄一 荒西 完治 喜田 浩巳 藤本 巴治 津崎 仁 氏家 勉 菅長 薫 原田 知典 池澤 栄次郎 宮田 義一 小林 委宏 田中 正憲 千崎 昭輝 長濱 吉生 野々村 禎之 村田 一紀 中道 真介 大道 章 梶木 盛也 遠藤 航 平野 進 森地 一夫 田中 保夫 田中 淳子 池田 純雄 安積 英二 井上 泰子 宮本 泰彦 吉川 芳男 確永 正昭 辰方 豊茂 田頭 英一 代谷 誠宏 中田 和葉 加藤 正巳 青木 教至 沼田 政子 菊妻 隆和 中野 まり BS西宮27
- 【奈良】** 綿谷 正之 岡本 聡 井上 武史 中西 達 田中 稔 森川 義憲 BS奈良19 奥田 雅晴 中村 光太郎 大岡 正斉 畔柳 勝 奥野 芳晃
- 【大阪】** 瀬瀧 康匡 高見 篤志郎 川口 明宏 谷口 修 上阪 功 樽谷 進 BS枚方9育成会 BS大阪72育成会 協和 化工(株)
- 【鳥取】** 寛 弘 松田 一三
- 【島根】** (株)杉原本店
- 【広島】** 沖 純次 小鷹野 正八 山城 建二 伊藤 雅哉 橋本 肇 角山 一 西田 弘展 平野 宏一 許田 宗文 政 泰治
- 【山口】** 清綱 秀信 藤中 義久 田子 薫 矢倉 茂生
- 【徳島】** 楠本 育生
- 【香川】** 吉田 往嗣 十河 嗣直 植野 雅信
- 【愛媛】** 峯本 高義 BS松山16
- 【福岡】** 辻 浩一 貞方 和正 塩川 浩史 熊本 幸雄 堤 寛 結城 利章 小山 俊

- 【日本】** 樋口 俊夫 辰野 勇 山口 英一 本田技研工業(株) キックマン(株) 浄土真宗本願寺派 スカウト指導者会 (株)保険あつとび プラネット 第一企画印刷(株) セイコーホールディングス(株)
- 【大分】** 内田 日出男
- 【宮崎】** 津曲 睦巳
- 【鹿児島】** 藤岡 義道 伊東 清寛
- 【沖縄】** 湧川 昌秀 阿波根 直孝 島袋 義光 新城 信武 宮里 啓和
- 【佐賀】** 藤田 弘道 吉原 良輔 立華 浩 轟 寛 江見 喜充 米田 均 平野 敦 (医)上有田整形外科 クリニック
- 【熊本】** 坂口 亮二 BS春日1 BS福岡15育成会 田中 生二

マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。

<https://www.scout.or.jp/support/04/>

9~10月に入会または1年継続された方々です。

- 【福島】** 関口 栄幸 飯塚 哲史 片寄 朗 白鳥 素也 熊谷 豊 平田 玲子 坂口 昇次 片平 紀行
- 【大阪】** 宮本 智喜
- 【福岡】** 赤星 雄之
- 【千葉】** 東海 直樹
- 【静岡】** 外戸口 利行 牧野 勲夫 倉岡 征宏
- 【滋賀】** 眞一
- 【宮崎】** 山本 卓也
- 【熊本】** 木本 史郎
- 【日本】** 村井 はるか 山本 史郎 渋谷 茂光 宇野 舞香 木村 公一
- 【奈良】** 高橋 一郎
- 【奈良】** 小城 浩充 辻本 有哉

本誌2019年11月号 (No.734) において、以下の皆さまの県名に誤表記がございました。お詫び申し上げます。

- 【島根】** 又賀 航一 中村 尊祐 小川 喜多男 井口 誠
- 中澤 梧郎 千家 隆比古 瀬央スカウト育成会
- 出雲大社 尊祐 出雲大社 教団長 千家 隆比古



新春 弥 栄

<p>謹賀新年</p>  <p>スカウトタウン・サービスを通して 「ちかい」と「おきて」の実践を深めよう</p> <p>世界救世教 管長</p> <p>長 澤 好 之</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問 浄土真宗本願寺派 門主</p> <p>大 谷 光 淳</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問 浄土真宗本願寺派 総長</p> <p>石 上 智 康</p>	<p>謹んで新年の お祝詞を 申し上げます 令和の弥栄 ボーイスカウト日本連盟 先達 杉原 正</p>
<p>謹賀新年</p>  <p>小 町 國 市</p> <p>東京連盟副連盟長 日本連盟理事 昭島第一団団委員 名誉会議議長</p>	<p>賀 春 “地域力だ！ボーイスカウト”</p> <p>子供は家庭・学校・地域の正三角形の 真ん中で育つ権利があります。</p> <p>運動の真価を浸透させましょう！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 千葉県連盟名誉会議議長 市川・浦安地区協議会長</p> <p>森 屋 啓</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>活動的で自立したスカウトを育てる！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>専務理事 佐 野 友 保 常務理事 膳 師 功 元 常務理事 山 内 直 元</p>
<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 特別顧問</p> <p>樋 口 武 男</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 評議員 大阪ボーイスカウト振興協会 評議員</p> <p>辰 野 勇</p>	<p>謹賀新年</p>  <p>創立100周年に向けて頑張ろう！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟</p> <p>コミッショナー 福 嶋 正 己 副コミッショナー 鈴 木 令 子 〃 氏 家 邦 政 〃 山 崎 伊 佐 緒</p>
<p>頌 春</p> <p>日本連盟 評議員 浄土真宗本願寺派スカウト指導者会 理事長 静岡県連盟 副連盟長 静岡県連盟三島地区 地区協議会長</p> <p>土 山 和 雅</p>	<p>謹賀新年</p> <p>常にそなえあれ！！</p> <p>日本連盟 評議員 広島県連盟 理事長 広島第30団 団委員長</p> <p>橋 本 貢</p>	<p>奉賀新年</p> <p>荒 尾 雅 也</p> <p>東京連盟目黒第7団 ボーイスカウト日本連盟 相談役 世界スカウト財団 理事</p>
<p>スカウトに慕われ、保護者に信頼される 魅力ある指導者になりましょう！！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 顧問・先達 ボーイスカウト群馬県連盟 副連盟長</p> <p>新 藤 信 夫</p>	<p>今こそ三島通陽第四代総長に学ぼう 「後継ぎと倍加運動」</p> <p>日本連盟 先達・顧問 千葉県連盟 顧問 日本連盟 創立100周年記念史編纂委員長</p> <p>鈴 木 國 夫</p>	<p>謹賀新年</p> <p>日本連盟 理事・国際委員長</p> <p>嶋 田 寛</p>
<p>100周年に向け スカウティングの価値向上を目指しましょう</p> <p>公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 副理事長</p> <p>水 野 正 人</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事・財務委員長</p> <p>戸 高 有 基</p>	<p>謹賀新年</p> <p>日本連盟 理事・プログラム委員長</p> <p>榊 原 孝 治</p>
<p>謹賀新年</p> <p>愛知連盟 連盟長</p> <p>岡 谷 篤 一</p>	<p>謹賀新年</p> <p>愛知連盟 理事長</p> <p>永 井 淳</p>	<p>謹賀新年</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員長</p> <p>増 田 秀 夫</p>
<p>謹賀新年 “13NAを成功させよう”</p> <p>日本連盟 理事 13NA 実行委員長 防災・危機管理タスクチーム委員長</p>  <p>増 子 恵 二</p>	<p>スカウトたちに宗教章を！</p> <p>ボーイスカウト日本連盟 理事・信仰奨励委員長</p> <p>村 上 智 真</p>	<p>スカウトの笑顔のために</p>  <p>ボーイスカウト日本連盟 理事 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員長</p> <p>増 田 秀 夫</p>

謹賀新年 日本連盟 理事 出田 行 徳

謹賀新年 日本連盟 理事 社会連携・広報委員長 磯山 友 幸

謹賀新年 横浜第87 団委員長 鈴木 武 道

謹賀新年 公益財団法人 神奈川県青少年育成指導協会副会長 武井 重 利

発団36年 強固な団運営 愉快な隊活動 城間 剛

迎春彌榮 さわやかな世界を創りましょう 矢島 巖

謹賀新年 日本ボーイスカウト大阪連盟岸和田第4団 奥 正 孝

立正大学ローバーOB・OG会 柳 茂 久

Scouting x Mastery for Service 関西学院に在籍しているスカウト OB・OG各位の登録を募集中!

早稲田大学ローバースを支援しています 東京連盟新宿第2 団育成会

謹賀新年 慶應スカウト三田会 東京連盟港第3 団 慶應義塾大学ローバースカウトクルー

謹賀新年 創部大正13年 96周年 立教大学ローバースOB・OG会

京都大学に入学して 京大ローバー隊に入ろう!! 京都第36 団(京大ローバー隊)

同志社に在籍するスカウトの入隊を歓迎します 同志社大学ローバースカウト隊

近畿大学に在籍するスカウトの入隊を歓迎します 近畿大学ローバースカウト隊

千葉県エバグリーンズスカウターズクラブ 代表幹事 沢田 悦三朗

日本スカウト切手・メモラビリアクラブ Scouting Collectors Club of Japan

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ JA1YSS JA2YSS JA4YSS JH1YSS

大阪連盟(せんしゅう地区)貝塚第2 団 育成会長 田 端 隆 彦

謹賀新年 立正佼成会 佼成スカウト指導者協議会

謹賀新年 高野山真言宗スカウト連絡協議会

日本スカウトライオンズ 会長 伊賀 保 夫 (330-A 東京ビースLC)

日本スカウトロータリアン 会長 松平 頼 武 (東京北RC)

新春彌榮 2020年 高尾山仏舎利奉戴90周年 日本オールドスカウトクラブ



新春 弥 栄

大谷スカウト連合協議会

慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」

書記 谷 俊	主事 高月 沙生子	部長 木村 理佳	真宗大谷派 青少年センター	会計監査 東 和秀	滋賀 俊正	沖田 淳子	増田 和彦	永津 勝彦	山縣 年博	井伊 光紉	三森 孝	下妻 正規	松田 純子	目幸 秀子	巨津 善祐	平野 嘉彦	北條 亨	糟谷 尚治	石神 明	黒川 紘紀	品田 千絵保	井垣 光弘	堀 秀之	小島 廣子	北橋 友啓	大橋 友啓	委員長 井上 法英	副委員長 井上 法英	委員 田代 俊孝	参与 田代 俊孝
-----------	--------------	-------------	------------------	--------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	--------	-------	------	-------	-------	-------	--------------	---------------	-------------	-------------

1924～ 金光教スカウト協議会 ～2020

大正13年 金光教少年団創設

名譽総裁 金光 平輝	総裁 西川 良典	会長 金光 清治	副会長 木村 広男	理事長 萬野 真信	副理事長 阿部 道生	理事 萬野 信一	副理事 木村 幸雄	常務理事 近藤 久美子	理事 安部 昭一郎	常務理事 金部 善行	理事 湯川 浩一	理事 森定 信吉	理事 木村 二美	理事 河端 優子	理事 森 征年	理事 古澤 太朗	理事 居森 信枝	理事 山田 実雄	理事 胡子 洋美
---------------	-------------	-------------	--------------	--------------	---------------	-------------	--------------	----------------	--------------	---------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------	-------------	-------------	-------------

相談役 松本 光明	相談役 高橋 好輝	相談役 高阪 忠裕	相談役 湯川 正夫	相談役 湯川 壽雄	相談役 三宅 光雄	相談役 木原 光信	相談役 安部 孝次郎	相談役 田中 弘	相談役 八坂 朋道	相談役 吉木 美智雄	相談役 石橋 啓二	相談役 安武 道義	相談役 石井 弘道	相談役 石本 生郎	相談役 光本 秀次郎	相談役 河端 秀次	相談役 新阜 信江	相談役 篠田 常生	相談役 甲斐 紀成	相談役 高田 佳子
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	-------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

事務局／〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷320 金光教本部教庁内 電話／0865-42-3111 FAX／0865-42-3140

浄土真宗本願寺派スカウト指導者会

～信仰心をもったスカウティングを～

事務局長 松 下 昌 文	事務局長 菊 池 孝 子	事務局長 瀧 本 法 仁	事務局長 小 島 道 雄	事務局長 東 森 文 昭	事務局長 梁 瀬 正 文	事務局長 高 倉 健 司	事務局長 沖 井 智 子	事務局長 白 川 淳 敬	事務局長 土 山 和 雅
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

事務局／京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派宗務所内
電話／075-371-5181(代表) E-mail: scout@hongwanji.or.jp



イチャリバ チョウデー!
沖縄スカウトクラブ

顧問 阿波根 直孝	顧問 新城 信武	顧問 中山 良正	顧問 桑江 泰幸	顧問 金城 盛良	奉仕 古屋 政美	奉仕 儀保 博信	奉仕 與古 力男	奉仕 玉城 讓治	奉仕 里平 秀彰	奉仕 伊波 亮
--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------

迎春弥栄

兵庫連盟 阪神さくら地区は
今年、発足10周年を迎えます。



阪神さくら地区(芦屋市、西宮市)協議会

明日へ!

北海道・東北ブロック協議会

北海道連盟	秋田県連盟
青森県連盟	山形県連盟
岩手県連盟	福島連盟
宮城県連盟	

会長 乳根 菅末 小	会長 井岸 野永 多林	会長 豊英 五正 俊	会長 彦樹 郎志 勉将
---------------	----------------	---------------	----------------

日本ボーイスカウト北海道連盟

連盟長 吉大 長三 今	連盟長 田橋 岡国 井	連盟長 源和 正久	連盟長 彦子 彦介 建
----------------	----------------	--------------	----------------

日本ボーイスカウト青森県連盟

連盟長 三村 申吾	連盟長 根岸 英樹
副連盟長 葛西 堯智	副連盟長 高瀬 厚太郎
事務局長 入間 正晃	事務局長 稲見 健誠

日本ボーイスカウト岩手連盟

連盟長 南 部 利 文	連盟長 奥 田 耕 一
副連盟長 末 永 正 志	副連盟長 小林 俊 将
事務局長 向 井 田 敏 宏	

日本ボーイスカウト宮城県連盟

連盟長 村 井 嘉 浩	連盟長 村 上 佳 司
副連盟長 芳 賀 文 良	副連盟長 中 橋 雅 光
事務局長 菅 野 五 郎	事務局長 高 山 千 葉 義 博

日本ボーイスカウト秋田県連盟
連盟長 佐竹 敬久
副連盟長 安田 孝司
米田 進
沢屋 隆世

ボーイスカウト山形県連盟
連盟長 吉村 美栄子
副連盟長 佐藤 孝弘
理事長 松田 隆仁

ボーイスカウト福島連盟
連盟長 内堀 雅雄
副連盟長 増子 恵二
副理事長 夏井 宏
理事長 安齋 精児
副理事長 高橋 文郎
事務局長 関根 一男

日本ボーイスカウト茨城県連盟
名誉連盟長 大井 川和彦
名誉顧問 大關 正正
連盟長 関竹 俊英
副連盟長 佐佐木 英雄
理事長 八河 敏敏
副理事長 河宮 俊輝
事務局長 若八 清正

公益財団法人 日本ボーイスカウト栃木県連盟
連盟長 福田 富一
副連盟長 荒川 政利
理事長 白澤 嘉宏
副理事長 相馬 啓二
池上 正美
中村 利久
櫻井 政義

日本ボーイスカウト埼玉県連盟
連盟長 大野 元裕
副連盟長 清水 勇人
理事長 鈴木 政佳
副理事長 牛山 健久
西齋 繁一
斎角 藤代
事務局長 藤尾 喜繁

夢！冒険！笑顔！いっぱいボーイスカウト
日本ボーイスカウト山梨連盟
連盟長 長崎 幸太郎
副理事長 渡辺 一文
理事長 鍋谷 正俊
副理事長 河野 潤秀
事務局長 石橋 隆秀

日本ボーイスカウト群馬県連盟
連盟長 山本 一太
副連盟長 新藤 信夫
理事長 河内 正美
副理事長 大川 由俊
小松 春富
藤井 健文
倉井 豊人

ボーイスカウト埼玉県育成会
会長 相川 宗一
常任顧問 川本 武彦
井上 孝
井男 澤二望

日本ボーイスカウト新潟連盟
連盟長 花角 英世
理事長 南雲 重孝
副連盟長 平田 則行
事務局長 清水 修

日本ボーイスカウト富山県連盟
連盟長 石井 隆一
理事長 大野 聡一

台風19号被災では大変お世話になりました。
日本ボーイスカウト長野県連盟
連盟長 阿部 守一
副連盟長 福田 部士
理事長 出塚 富行
副理事長 塚花 光浩
小岩 由育
事務局長 小藤 矢恒

日本ボーイスカウト石川県連盟
連盟長 谷本 正憲
理事長 野田 政弘
事務局長 手井 博史

日本ボーイスカウト福井連盟
連盟長 杉本 達治
理事長 前川 俊弘
一般財団法人ボーイスカウト福井連盟維持財団
代表理事 山崎 幸雄

迎春 日本ボーイスカウト千葉県連盟
公益財団法人 千葉県連盟維持財団
連盟長 萩原 祐博
副連盟長 高橋 昭二
理事長 木村 政夫
理事 伊藤 知夫
片平 紀行
榎間 隆之
小川 浩二
高橋 雅彦
増田 秀夫
太田 工
三塚 学
関口 陽市
野中 浩章
小鷹 順一
太田 大州
鶴澤 弘明
山本 勲
坂口 昇次
児玉 春美
中山 堯登
片寄 朗
曾根 博
小林 恒行

全国大会でお会いしましょう！
日本ボーイスカウト神奈川連盟
連盟長 黒岩 祐治
副連盟長 佐野 友保
理事長 藤本 欣司
理事 濱田 雅弘
柳下 裕明
鈴木 令子
阿部 真也
菅原 信浩
中島 一彦
小島 敏彦
佐久間 直人
坂本 健
前川 裕一
原清 一郎
境 紳隆
中鶴 英明
安藤 正紀
堀本 宏志
宮本 宏志
脇本 保則
伊藤 郁夫
清水 裕夫
竹内 和夫
滝田 信子
尾方 哲郎
栗田 哲彦
近藤 明彦
木村 寿宏
斎藤 守之
小杉 正志
木村 耕三
伊藤 健三
根岸 進一
追分 由子
薬袋 豊夫
折本 博文

日本ボーイスカウト福岡県連盟

Since 1925

連盟長(福岡県知事) 小川 洋
副連盟長 高武 辰行
理事長 森永 信一路
副理事長(地区代表理事) 長尾 時男
副理事長(地区代表理事) 井手 直秀
副理事長 藤田 俊郎
県連盟コミッショナー 結城 利章
県連盟副コミッショナー 郡島 三暁
県連盟副コミッショナー 坂口 亮二
県連盟副コミッショナー 小山 俊寛
事務局長 堤 寛

日本ボーイスカウト長崎県連盟

連盟長 中村 法道
理事長 前田 良孝
県連盟コミッショナー 瀬渡 端孝
事務局長 瀬渡 部明

日本ボーイスカウト大分県連盟

連盟長 広瀬 勝貞
副連盟長 阿南 國康 副理事長 高 椋 清
理事長 戸高 有基 県連盟 真田 康広
副理事長 池辺 晴美 事務局長 内田 日出男

日本ボーイスカウト宮崎連盟

連盟長 河野 俊嗣 副理事長 山口 洋一
理事長 池本 要 林 幸孝
事務局長 村永 盛哉 河野 一平



ボーイスカウト日本連盟
医療チーム 幹事会

水平 岩松 谷 惠 至 (愛知)
平 岩 沢 邦 彦 (福井)
松 井 敏 恭 (香川)
嶋 田 和 理 佳 (香川)
西 田 嶋 由 貴 子 (京都)
三 原 一 之 瀬 嶋 山 里 (茨城)
原 一 之 瀬 嶋 山 彦 (兵庫)
中 村 村 渡 村 山 邊 上 真 弥 志 (東京)
村 渡 村 山 邊 上 真 弥 志 (埼玉)
村 渡 村 山 邊 上 真 弥 志 (岐阜)
村 渡 村 山 邊 上 真 弥 志 (埼玉)
村 渡 村 山 邊 上 真 弥 志 (神奈川)
村 渡 村 山 邊 上 真 弥 志 (愛知)
村 渡 村 山 邊 上 真 弥 志 (東京)

謹賀新年

スカウト運動を次世代につないでいきましょう

中途退団抑止特別委員会

委員長 膳師 功 (理事)
副委員長 佐藤 一石 (千代田)
委員 櫻井 茂生 (愛知)
委員 時田 和明 (東京)
委員 村田 紘一 (大阪)
委員 森地 一夫 (兵庫)
協力委員 木村 寿宏 (団支援・組織拡充委員会)
久保田 太郎 (社会連携・広報委員会)
南 秀生 (財務委員会)

なろう。一人前に。



社会連携・広報委員会一同



謹賀新年

リオ ティント ジャパン株式会社
代表取締役社長 堀江 渉



pioneering progress



株式会社ゴーゴーカーグループ
ターバンカレー ホットハウス

代表取締役社長

宮 森 宏 和

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階

謹賀新年 ICOM

アイコム株式会社は
ボーイスカウト日本連盟の活動を応援しています。



VICTORINOX

ビクトリノックス 原宿神宮前店 限定

「ボーイスカウト機関誌を見た」とお伝えいただくと

名入れ彫刻を無料サービス致します。

※対象モデル:フィールドマスター



03-6805-1300 通販可
info.harajuku.jp@victorinox.com

謹賀新年



株式会社ヤクルト本社

常務執行役員 榎 良 昌 利

〒105-8660 東京都港区東新橋1-1-19
tel: 03-3574-8981 fax: 03-3575-8020

謹賀新年 Ogawa

代表取締役 | CEO 伊川 良雄

キャンパルジャパン株式会社 | www.campal.co.jp
〒136-0076 東京都江東区南砂 2-36-10 光陽ビル 4F

新春弥栄 円石コンサルタント(株)

代表取締役会長 池田 和子

代表取締役社長 川久保 政 茂

(稲門スカウト倶楽部)

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-1

| 感 | 動 | 空 | 間 | 創 | 造 |

Total Space Production

謹賀新年



国際航空写真株式会社

代表取締役 早川 太郎



TRY CO., LTD
株式会社トライ



代表取締役 立川 勝得

共立印刷株式会社

代表取締役社長 篠原 憲一

新春弥栄



パシフィックヴィジョン株式会社

代表取締役社長 笹沢 明宏



TSP 太陽株式会社 www.tsp-taiyo.co.jp

[東京本社] 03-3719-3721 [大阪支店] 06-6306-3150

[営業所] 札幌・仙台・福島・茨城・さいたま・千葉・横浜・浜松・名古屋・三重・金沢・奈良・和歌山・岡山・広島・山口・福岡・鹿児島

謹賀新年

- 特別顧問: 大金樋御森渡石久新杉鈴但田杜長西山荒井廣堀松大宇久佐鈴瀬羽山
理事: 奥日松水佐膳山福鈴中小村神大久嶋磯増戸村樽増出岡塩永
評議員: 谷松森井牛牛大川河木白白末鈴仙辰土天中乳橋禰藤間松宮森横吉

名誉会議

- 日本連盟副コミッショナー: 福氏鈴木山水中
国際副コミッショナー: 中野正邦合伊佐緒人り
議 員: 小町多澤阿

団支援・組織拡充委員会

- 委員長: 村田禎章 (理事)
副委員長: 木村村 (神奈川)
委員: 澤川悦雅和晴 (静岡)
高藤見川 (東京)
高藤見川 (福井)
高藤見川 (兵庫)

プログラム委員会

- 委員長: 神原孝治 (理事)
副委員長: 中島清英 (茨城)
委員: 桑藤達也 (兵庫)
佐藤成也 (東京)
高橋内村 (埼玉)
竹中 (神奈川)
中 (愛知)

指導者養成委員会

- 委員長: 大久保秀人 (理事)
副委員長: 松本修 (大阪)
委員: 志賀繁 (静岡)
津田五博 (京都)
藤吉野 (香川)
藤吉野 (愛知)

国際委員会

- 委員長: 嶋田寛 (理事)
副委員長: 近藤明彦 (神奈川)
委員: 森永信路 (福岡)
大黒千秋 (兵庫)
笹崎かね子 (東京)
富真光 (千葉)
中村一治 (大阪)
花岡耕浩 (愛知)
花岡耕浩 (長野)

社会連携・広報委員会

- 委員長: 磯山友幸 (理事)
副委員長: 鈴木俊明 (埼玉)
委員: 松平昌樹 (東京)
青木秀樹 (長野)
井上義雄 (神奈川)
川瀬政美 (京都)
久保太郎 (大阪)
清水健之 (学識経験)
高橋一 (学識経験)
只野太一 (東京)
土田純平 (山形)
山本慎太郎 (東京)

「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会

- 委員長: 増田秀夫 (理事)
副委員長: 戸守雅之 (大阪)
委員: 宇山健太 (千葉)
逢坂伸三 (神奈川)
神谷三枝 (神奈川)
西田俊 (埼玉)
宮田 (大阪)
宮田 (茨城)

財務委員会

- 委員長: 戸高有基 (理事)
副委員長: 南秀生 (兵庫)
委員: 出問正徳 (長野)
宮史男 (大阪)
森和 (神奈川)
和田 (東京)
和田 (宮城)

信仰奨励委員会

- 委員長: 村上智真 (理事)
委員: 飯盛安正 (東京)
町田正信 (東京)
森定卷 (岡山)
森八 (静岡)

中途退団抑止特別委員会

- 委員長: 膳師功 (理事)
副委員長: 櫻井茂生 (愛知)
委員: 佐藤一和 (千葉)
村田石明 (東京)
森田和紘 (大阪)
森地一夫 (兵庫)

共済運営特別委員会

- 委員長: 樽谷進 (理事)
副委員長: 岩井裕明 (愛知)
委員: 浅井真一 (愛知)
真塚 (東京)
塚本 (大阪)

スカウトソング特別委員会

- 委員長: 石原徹 (愛知)
委員: 小笠原妙香 (静岡)
鹿野美智子 (福井)
品内千絵 (東京)
日上市光 (大阪)
山崎 (広島)



令和元年台風第19号への支援状況報告

2019(令和元)年10月、日本列島に上陸した令和元年台風第19号が猛烈な勢力を維持すること約75時間。これにより、東北地方、関東甲信越地方、新潟県、静岡県では、各地で降水量が観測史上1位を更新するなどの記録的大雨となり、各地に甚大な被害をもたらされました。

今号では、全国の皆さんによる支援活動状況について報告いたします。引き続き、ご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※本頁では、日本赤十字社等への直送分を含み、日本連盟に活動報告をいただいている団体(2019年11月30日報告受け付け分まで)を掲載しております。
※隊名や個人名等の報告でも、団名の記載があった場合には、団名で紹介しています(敬称略、順不同)。ご了承ください。



■ 日本赤十字社等を通じて被災者に直接送られる義援金 **¥2,998,902**

【北海道】北海道連盟 【岩手】盛岡12
【宮城】名取1、泉2 【栃木】小山6、塩谷8 【群馬】群馬町1、沼田1、松井田1、邑楽町1、前橋15 【埼玉】川口19 【千葉】松戸9 【神奈川】寒川12、横浜19、横浜27、横浜79、秦野1、秦野2、逗子1 【東京】青梅4 【富山】魚津2 【石川】石川県連盟 【長野】上田5、松本1 【岐阜】関1、関2 【静岡】清水19、富士宮5 【愛知】名古屋22、東海1 【三重】鈴鹿1 【滋賀】犬上1、滋賀連盟ソング研修会出席者有志 【京都】長岡2、京都79、

きづがわ1 【兵庫】養父1、加古川12、神戸6、神戸16、神戸53、尼崎7、尼崎14、尼崎26、明石2、西宮3、西宮13、神戸垂水地区ローパス、兵庫連盟カブラリー参加者有志、兵庫連盟理事会・事務局有志 【奈良】磯城1、香芝2、橿原8 【大阪】高槻5、吹田15、茨木1、島本1、堺24 【鳥取】倉吉3、鳥取1、鳥取7、鳥取10、鳥取12、米子11 【島根】出雲6 【岡山】西大寺1 【香川】坂出4、香川連盟 【愛媛】大洲1、砥部1、西予1、内子1、八幡浜1 【熊本】八代3、玉名4 【鹿児島】鹿児島県連盟 【日本】RCJ運営委員会

■ スカウト関係者からスカウト関係者に対する見舞金 **¥794,462**

【石川】石川県連盟 【兵庫】尼崎26、西播地区 【愛媛】松山28 【日本】WB実修所 VS課程第31期一同

■ ボーイスカウトによる支援活動をサポートするための災害活動支援金 **¥81,275**

【神奈川】横浜24 【石川】金沢6 【静岡】大仁1 【岡山】総社3 【日本】WB実修所 VS課程第31期一同

募金等、活動報告のお願い

日本連盟に届いた活動報告により、募金額と使途の確認がとれた募金について掲載しております。募金活動を実施した際は、日本赤十字社等へ直接送金された場合も含め、活動報告の提出にご協力ください。

2020
No.736
3

SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2020年3月1日発行

特集

そなえよつねに。 —災害への備え—

島国である日本は、豊かな自然環境を誇る反面、近年では地震や豪雨水害などの自然災害に見舞われることが多くあります。いつ訪れるかわからないその時のため、「そなえよつねに」の精神で準備しましょう。

なんでも応募先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんの投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2020年1月号 No.735 令和2年1月1日発行(奇数月1日発行)
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>
『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は固での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封して送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封して送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合は有償でお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ<https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。
©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2020 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL:03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。



ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni

URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

迎春
弥栄

数量限定販売

福



袋



あけましておめでとうございます。

毎年ご好評いただいております「福袋」を今年も販売いたします。今年は大・中・小の3種類のうち、大と中はオリジナルトートバッグに入れてお届けします。大のトートバッグはレザーハンドル！ 技能章をモチーフにしたデザインで仕上げました。数量限定。ご注文は全国の販売協力店、SCOUT SHOP TOKYO、そしてONLINE SHOPで承っております。

オリジナルレザーハンドルトートバッグ付き

品番：90000 福袋大 12,000円

オリジナルトートバッグ付き

品番：95000 福袋中 6,000円

品番：93000 福袋小 3,000円

ONLINE SHOP では WINTER SALE も開催中！

MAX 80% OFF SALE
2019 - 2020 WINTER

SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



いなば

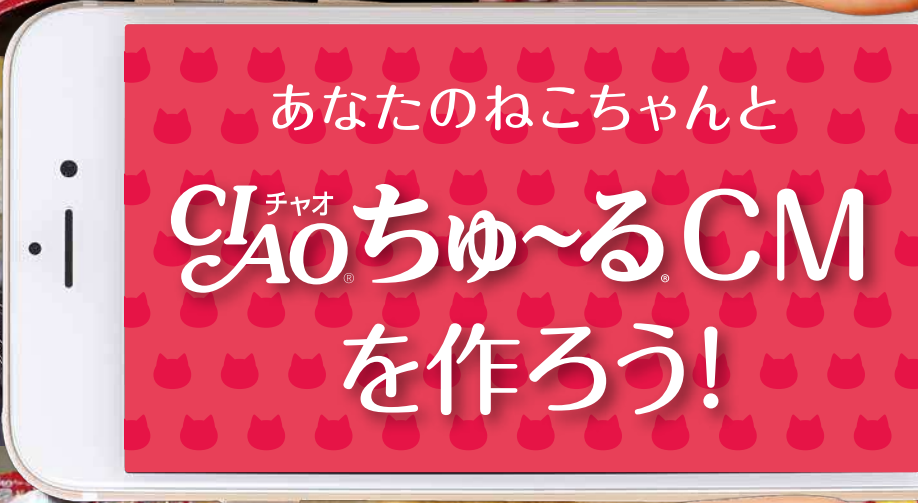
SCOUTING 2020/1 735

スカウトイング

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-66119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

4 931187 663251



お手持ちのスマートフォンで簡単に、CIAOちゅ~るのCMが作れるアプリ「ちゅ~るメーカー」ができました。飼い主さんが監督で、猫ちゃんが主演。あなただけの可愛らしいちゅ~るCMを是非作ってみてください。作ったCMをハッシュタグ【#ちゅ~るメーカー】を付けてSNSに可愛らしい動画をどんどん投稿してください。



STEP 1 名前を入れます

STEP 2 地域を入れます

STEP 3 動画を撮影します

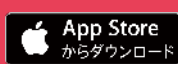
STEP 4 投稿します

猫ちゃんの名前を入力してください。

住んでいる都道府県名を入力してください。

ちゅ~るシーンの撮影開始。納得のいく3カットを撮影してください。

CMが完成したら、「#ちゅ~るメーカー」を付けてSNSに可愛らしい動画をどんどん投稿してください。



ちゅ~るメーカー



本サービスの利用にはアプリのダウンロードが必要になります。通信料金は利用者負担になります。必ず利用規約を確認し、承諾のうえでご利用ください。AppleとAppleロゴは米国及び他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Apple StoreはApple Inc.のサービスマークです。Google Play、Google Playロゴは、Google Inc.の商標です。

いなば食品は、自然環境や動物を大切にしているボーイスカウト運動を応援しています